

# 70周年記念誌

半



10年の絆

小田原地区保護司会

# 創立70周年記念誌

## 10年の絆



### 保護司信条

私たち保護司は、社会奉仕の精神をもって

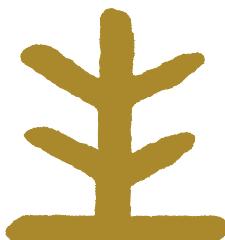
- 一 公平と誠実を旨とし、過ちに陥った人たちの更生に尽くします。
- 一 明るい社会を築くため、すべての人々と手を携え、犯罪や非行の予防に努めます。
- 一 常に研鑽に励み、人格識見の向上に努めます。

#### 幸福の黄色い羽根

由来は、更生保護のシンボルマークの「ヒマワリの黄色」それに、映画「幸福の黄色いハンカチ」の着想を得て、長崎保護司会で活用が始まりました。



人はみな、  
生かされて  
いきてゆく。  
更生保護ネットワーク



保護司信条は平成6年5月26日全国保護司会連盟社員総会において制定

# 目 次



歴代会長紹介 … 4

発刊のことば … 5

関係機関・諸団体の祝辞 … 6

ブロック紹介 … 13

保護司会事業内容 … 34

地区関連施設の紹介 … 36

観察所長・統括保護観察官・主任官・役員名簿紹介 … 38

各部会及びサポートセンターの紹介 … 39



会員表彰 … 64

退任保護司と各種表彰 … 68

組織図・会則 … 70

実行委員会の紹介及び編集後記 … 77

「表紙」

＊(生きる)は、更生保護のシンボルマークとなっており「樹木の芽」が伸びて行く様を表現しています。

「10年の絆」

松原宣孝保護司（小田原書道連盟会長）によるものです。

「小田原のランドマークである小田原城天守閣」

「更生保護の日」である令和2年7月1日20時～20時30分の30分間、本運動のシンボルカラーである黄色にライトアップしたものです。

## 歴代会長



初代会長  
鈴木十郎  
昭和27年～44年



2代会長  
井上芳次郎  
昭和44年～46年



3代会長  
山口辰治  
昭和46年～57年



4代会長  
原次男  
昭和46年～57年



5代会長  
富澤芳郎  
昭和59年度～平成4年度



6代会長  
剣持武郎  
平成5年度～12年度



7代会長  
野地博  
平成13年度～14年度



8代会長  
石綿忠男  
平成15年度～18年度



9代会長  
志村宗男  
平成19年度～25年度



10代会長  
渡邊俊之  
平成26年度～30年度

白黒写真は、存命されておりません。

# 発刊のことば



会長大場得道 小田原地区保護司会

小田原地区保護司会が発足 70 周年を迎え、ここに記念誌「10 年の絆」を発刊できましたことを会員の皆さま、関係諸団体の皆様に感謝申し上げますと共に喜び申し上げます。

本来ならば記念式典を予定しておりましたが、コロナウィルス感染症の渦中となり中止することになりました。

東京オリンピック、パラリンピックが 1 年遅れで開催され、日本人選手の輝かしい活躍が、日夜報道されコロナウィルス感染症の渦中の国民の士気高揚に過大な貢献がなされました。

さて私は、後世に語り継がれてほしい文面の掲載された神奈川県更生保護のあゆみ [更生保護制度施行 50 周年記念誌] に感銘を受けました。当保護司会の設立時を振り返り見れば昭和 27 年に初代会長鈴木十郎氏（小田原市長）が、当時、世間を騒がせた青少年非行の最初のピークが昭和 26 年であり、大変憂慮され、犯罪や非行の予防は本来地域住民が主体的にやるべきと考え昭和 30 年頃より地域の諸団体の児童婦人担当の民生委員、若い保護司を抜擢し、青少年補導員 50 人を市長が委嘱し、非行防止活動の一貫として街頭補導活動に従事させました。

さらに非行防止活動の拠点ともいべき小田原市青少年補導所（旧青少年相談センター）を県下のトップをきって設置し、警察官との密接な連携により効率的なパトロールを開始し、青少年補導員による街頭補導活動の先鞭をつけ、非行防止の実績を残し、多くの保護司は青少年補導員から推薦されていました。

先人諸兄の長きにわたる更生保護活動、青少年の非行防止活動に尽力され、現在の保護司会が築かれていることを痛感し深く感謝の意を表したいと思います。

旧青少年相談センターに前小田原地区更生保護サポートセンター小田原が設立されたのも不思議な縁がありました。

今回は、発足 60 周年から令和 3 年 12 月までの 10 年間を地区保護司会の活動を中心に構成をしております。

最後になりましたが、資料の提供、原稿のご執筆を頂いた関係諸団体の皆様、記念誌発行委員会の皆様に厚く御礼申し上げます。

# 創立70周年記念誌の発刊をお祝いして

小田原地区保護司会が記念すべき創立70周年を迎えるに当たり、小田原地区における更生保護の活動の足跡を記録した本記念誌を編まれ発刊されますことは、大変意義深く、心よりお祝いを申し上げます。



所長  
滝田裕士

横浜保護観察所

貴会におかれましては、昭和27年8月の創立以来、先達の深い慈愛の心と崇高な志を受け継ぎ、犯罪や非行をした人の立ち直りと地域に根付いた犯罪予防の活動に取り組まれ、その地道な活動の積み重ねを通じて、小田原地区における更生保護の充実・発展を支えてこられました。

取り分け、この10年の間には、専門部会の増設など保護司会組織の充実を図られた上、平成26年1月には県下3番目となる「更生保護サポートセンター小田原」を旧青少年相談センターに開設され、さらに令和2年4月には現在の飯田岡に場所を移し、会議室や面接室、保護司会事務所はもとより、更生保護女性会とBBS会それぞれの事務所をも備えた充実した環境を整えられ、地元小田原市を含めた四者が連携しつつ、まさに更生保護活動の拠点としての機能を發揮しておられます。

また、温かな情報を伝える広報誌「かけはし」の発行、恒例の“社会を明るくする運動”では、作文コンテストとも連動した「ホゴちゃん地域の集い」の開催を重ねられるなど、多様な広報活動と情報発信に取り組まれるとともに、更生保護施設報徳更生寮では、清掃活動などを通じて寮生とも交流されながら、その自立を温かく見守り、施設の運営を支援いただくなど大変貴重な取組を継続いただいております。

こうした充実した活動実績を築いてこられましたことは、歴代の会長、役員の皆様を始めとする会員の皆様方のたゆまぬ御尽力の賜物であり、心からの敬意と感謝を申し上げる次第です。

折しも新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の困難に社会が直面する中で、改めて人と人とのつながりや支え合いの大切さが見直され、様々な生きづらさを抱える人も包み込む共生社会の実現が求められています。

犯罪や非行をした人を含め「誰ひとり取り残さない」社会を築くことは更生保護の理念に通じるものであり、貴会が、こうした地域社会づくりにこれからも貢献され、これまでの活動実績を礎として、今後ますます発展されますことを祈念申し上げます。

# お祝いのことば

このたび、小田原地区保護司会が発足 70 周年を迎えたことを、心からお祝い申し上げます。

更生保護は、犯罪や非行に陥り罪を償った人たちの再出発や立ち直りを支援する活動であり、本人の強い意志はもちろんですが、地域社会の理解と協力が不可欠です。昭和 24 年 7 月に犯罪者予防更生法が施行、昭和 25 年 5 月に保護司法が公布、施行されたのと時期を同じくして、貴会は昭和 27 年 5 月に結成されました。その後、70 年もの長きにわたり、先達の保護司の方々のご意志を継承しながら、支援が必要な人たちに寄り添い、また、地域社会の安心や安全のために献身的にご尽力いただいており、市民を代表してそのご活動に敬意を表する次第です。

さて、社会情勢や生活環境が日々変化していく中で、更生を目指す人々の生活の質が十分に向上しているとはいひ難い状況です。犯罪件数は年々減少の傾向にはありますが、貧困や孤立、依存など、犯罪や非行につながる生きづらさが、現代社会の陰に静かに広がっているように思います。このような社会の負の側面を完全に払拭するのは大変難しいことですが、当事者の方々にとって、身近に“相談できる人がいる”こと、“迎え入れてくれる人がいる”こと、“共に考えててくれる人がいる”ことは、再びこの社会で生活していくうえで何物にも代えられない力になると考えております。

また、近年、新型コロナウイルスの感染拡大が猛威を振るうという未曾有の事態において、誰もが不安な日々を過ごされています。この状況下においても地域との繋がりに重きを置き、各地区の自治会や学校との連携を念頭におかれ、安心で安全な地域づくりを目指すために何ができるのか、現代の課題に向き合いながら相談や支援、啓発活動に取り組んでおられる皆様のお姿は非常に頼もしく、今後の活躍にも大変期待しているところです。

本市は 2030 年に向けた新たな将来像として「世界が憧れるまち“小田原”」を掲げております。誰もが住みよく、住み続けたい、訪れたいと思えるようなまちづくりを進めるためには、市民力や地域力が必要不可欠です。「支える：支えられる」という関係を越え、助け合いながら安心して暮らすことができるケア力の高い地域共生社会の実現のため、保護司としてのお立場から今後ともお力添えをいただきたくお願い申し上げます。

結びに、貴会のますますのご発展を祈念いたしますとともに、会員の皆様のご活躍とご健勝をお祈りいたします。



小田原市長  
守屋輝彦

# 「70周年記念誌」の発行を祝して

このたび、小田原地区保護司会が創立70周年という節目を迎えられ、これまでの歩みを振り返るとともに、会の更なる充実発展を期して記念誌を発行されることは誠に意義深いことであり、心からお慶び申し上げます。



併せて、創立以来70年もの長きにわたり、貴地区保護司をはじめ関係各位がたゆまぬ努力を継続し、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会づくりに御尽力されてこられたことに深甚なる敬意を表します。

社会情勢が急激に変動する現代において、地域社会とともに着実に歩んできた更生保護に寄せる国民の期待と関心は高まっています。平成28年に制定された再犯防止推進法に基づき、翌年には国の再犯防止推進計画が策定され、平成31年3月には神奈川県でも同計画が策定されました。その後、横浜、川崎、相模原の政令市をはじめ、複数の自治体でも同計画が策定されたほか、残りの自治体でも策定に向けた検討が進められています。

再犯防止が目指すのは、誰もが安心して暮らせる明るい町づくり、地域づくりであり、罪を犯した人が立ち直り、地域社会の一員として、「ともに生き、支え合う社会」、「誰一人取り残さない持続可能な社会」の実現です。地域社会の中で再犯防止の一翼を担う私たちは、地域の関係機関・団体とより密接に連携していくことが必要不可欠です。

小田原市内には、横浜保護観察所の出先機関である小田原駐在官事務所と長い歴史を誇る更生保護施設報徳更生寮があり、また、数年前までは小田原少年院もありました。そして、更生保護女性会、BBS会等の更生保護ボランティアも活発に活動しており、貴地区保護司会は、これらの関係機関・団体と長年にわたり有機的に連携し、優れた功績を残してこられました。

貴地区保護司会の皆様が、70年間にわたり脈々と積み重ねてきた良き伝統と、これまで連綿と築き上げてこられた人と人とのつながりを大切にして、先達の思いを継承し、新たなつながりの在り方を共に考えながら、コロナ禍を乗り越えて、貴地区における更生保護活動がより一層充実されることを期待しております。

結びに、小田原地区保護司会のますますの御発展と会員皆様の御活躍・御健勝を祈念申し上げまして、記念誌発行に寄せるお祝いの言葉とさせていただきます。

会長 柳川義信  
神奈川県保護司会連合会

# 小田原地区保護司会 発足70周年を祝して



会長  
磯田待子  
更生保護女性会

小田原地区保護司会が発足70周年を迎えられること、心からお祝い申し上げます。

貴会におかれましては、70年もの長きにわたり、犯罪や非行をした人たちの立ち直り支援や犯罪予防の活動など、地域の安全・安心に大きく貢献してこられました。これも歴代会長はじめ、役員の皆様、会員の皆様お一人おひとりの御尽力の賜物と深く敬意を表します。

この2年近くは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、私共、更生保護女性会も多くの事業を中止せざるを得ない状況の中で活動を続けていくことの難しさを痛感しております。幸い、小田原地区保護司会のサポートセンターが、令和2年4月に旧青少年相談センターから飯田岡に移転し、一部屋を更生保護女性会の事務所として、また、会議室も打ち合わせ等に使わせていただけすることになりました。他の地区の会長から、どこも会議室を使わせてもらえず役員会の開催も難しいとの話を聞くにつれ、活動の拠点としてサポートセンターがあることを大変有り難く思っております。

「使用済み切手」の収集も、これまで保険司会と更生保護女性会がそれぞれ別々に取り組んでおりましたが、この度、これをサポートセンターで一本化することになりました。合わせて、以前から私共が取り組んできた「エコキヤップ運動」にも保護司会の賛同を頂き、共に連携して取り組むことになりました。この運動は、ペットボトルのキャップを集め世界の子どもたちにポリオワクチンを届けようというもので、キャップ800個で子ども一人分のポリオワクチンを購入することが出来ます。

平成29年、保護司会と更生保護女性会の交流会が市内酒匂の児童養護施設「ゆりかご園」で行われ、研修の機会を得ました。この時の縁で、私共はゆりかご園に毎年雑巾やビスケットをお届けするなど、支援活動を続けております。更生保護女性会では活動の軸足を更生保護におきつつ、「社会のたから」である子どもたちが健やかに育ってこそ明るい社会との思いで、子育て支援にも大変力を入れております。保護司会との交流会が、ゆりかご園への訪問という子育て支援の活動に繋がりました。

これからも様々な交流を通して連携を深め、活動の場を広げていければと思っております。

終わりになりましたが、皆様方のご健勝と小田原地区保護司会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

# お祝いのごあいさつ



理事長　志村宗男  
更生保護法人　報徳更生寮

小田原地区保護司会が設立 70 周年を迎えたことについて、この誌面をお借りして一言、お祝い申し上げます。

小田原地区保護司会は、昭和 25 年の保護司法制定を背景に、昭和 27 年に産声をあげられました。戦後の混乱期で自分たちの生活自体が安定しない状況下にもかかわらず、物心両面において被保護者の社会復帰を支えてきた当時の保護司の諸先輩方に深い敬意を表します。

私は、昭和 56 年 8 月に小田原地区の保護司として拝命し、平成 31 年に退任しました。保護司として活動した通算 37 年は数えきれない思い出が瞼に浮かびます。

保護観察対象者では「助言を聞き入れ、立派な社会人となって巣立った対象者」保護司会員との交流では「お互いの対象者の相談を重ね、議論しあいながらより良き指導方法を模索」社会を明るくする運動では「市民への啓発のために街頭宣伝」など保護司活動を通じて得た経験は私の人生において掛け替えのないものであります。

更に私の保護司会長時代には、保護観察所をはじめ小田原市の力添えにより県内 3 番目の「更生保護サポートセンター」を開設しました。現在では、歴代及び現在の保護司の方々の思いが詰まったこの「更生保護サポートセンター」が更生保護諸団体とリンクし、市内の更生保護活動の拠点として機能していることは、この上ない喜びを感じます。

また、小田原市には県西唯一の更生保護施設 報徳更生寮があります。私が代表を務めるこの報徳更生寮は、長年に渡り小田原地区保護司会との結びつきは強く、保護司会員の中から施設運営の役員の派遣や資金的支援をしていただき、更に毎年夏には清掃奉仕を実施していただいております。深く御礼申し上げます。

この度、小田原地区保護司会は 70 周年を迎られましたが、この 70 年を 70 歳というものに準えて諺語でいうと「七十にして矩（のり）を踰（こ）えず」と申します。これは「人としてまさに成熟し、道を外れることが無い様」を意味します。この境地からこれまで積み上げてきた会としての活動経験や実績を基盤として、時代に応じた更なる躍進を期待しております。まさに「前程万里」であり小田原地区保護司会の前途は明るく大きな可能性が広がっていると信じています。

最後になりますが、この先 80 年 90 年 100 年と歴史を刻んでいく小田原地区保護司会の更なる発展を祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

# 小田原地区保護司会70周年を祝して

小田原地区保護司会が70周年を迎えたことに対しまして心よりお祝いを申し上げます。また、貴会の発展のために御尽力をされました先人の先生方に敬意を表しますとともに現役の皆様の多方面での御活動に敬意を表します。

私どもBBS会は、非行や社会不適応少年のいない、犯罪や非行がない明るい社会の実現を目指しております。BBSという名前には、兄や姉のような存在として、非行少年たちと「ともだち」になることを通して彼らの自立を支援するという意味が込められています。

小田原地区BBS会は1967年に志村宗男初代会長が発足致しました。志村宗男初代会長は後に保護司として貴会の9代目会長も務めていらっしゃいます。平塚のBBS運動を見聞きしたことから、非行少年も自分と変わらない人間であり、芯から悪い人間はいないという思いを抱いてBBS運動に賛同し、当会を立ち上げました。

当時のBBS活動は小田原少年院や、現在の更生保護施設報徳更生寮の前身である小田原少年園の少年を対象として、レクリエーションや就労支援といった活動を行っておりました。現在は、児童自立支援施設や更生保護施設への訪問、少年に対して学習支援やレクリエーションといった活動を行っております。芯から悪い人間はいないという思いを受け継ぎ、それを実践に移した活動ができるよう努めています。

BBS運動は学生が主となって活動しているためか、保護司会の方々とは普段の関わりが無いという地区も珍しくありません。その点で申し上げると、私ども小田原地区BBS会は保護司会との顔が見える関係ができていることを評価されることが多くございます。これもひとえに、小田原地区保護司会の皆様方からのご指導のおかげと厚くお礼申し上げます。

保護司会の皆様とお話しすると、活動への情熱を強く感じます。保護司会の方数名から保護観察対象者との面接のお話を伺ったことがあるのですが、「必ず更生できる」という対象者を信じる気持ちに感銘を受けました。対象者も自分と変わらない、芯から悪い人間はいないという姿勢を体現されているのだを感じております。

保護司活動が始まって、この70年の間には様々な社会の変化があったことと思いますが、活動の理念と社会奉仕の精神を変わらず受け継いでこられたことに敬意を表します。

最後になりましたが、小田原地区保護司会の益々の御発展と会員の皆様方の御健勝を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉いたします。



会長 濱田 優作  
小田原地区 BBS会

# 「温 故 知 新」

小田原地区保護司会70周年記念誌発刊にあたり心よりお祝い申し上げます。関係機関・団体の皆様方のご指導並びに諸先輩のご尽力に対し敬意を表します。

掲載の機会を頂きましたので、私はBBS運動から更生保護に参画しました。歴代会長と直接面識があり、好機を得たので印象の一コマを記載させて頂きます。

・初代会長、重鎮　・2代会長、統率力の人　・3代会長、機動力の人（機敏な対応でBBSに大変貢献）　・4代会長、誠実な人

・5代会長、継続の人　・6代会長、実践の人　・7代会長、勇気

凛々の人（暴力団追放運動）　・8代会長、言行一致の人　・9代

会長、継続の人　・10代会長（元国家公務員）等 諸先輩のご尽力

により小田原地区保護司会その歴史は築かれた。会長職を引継ぎ最初に着手したことは、① 会員奉仕の精神の涵養。② 啓蒙活動に

重点を置いた。会員が、実践活動しながら体験を通して体得する手法として、「第66回社会を明るくする運動」を活用し、「市民の集い記念コンサート」を2016年7月20日、市民会館に於いて高校

生のスピーチと寺内タケシ&ブルージーンズの協力を得て加藤憲一市長・加藤仁司市議会議長のご臨席の下、関係者多数、会場ほ

ぼ満員状態で本運動の主旨説明し理解を図り、多くの参加者に感銘を与え成功裡に終えた。（市事務局の協力によりアンケート表・

配布収集・集計・分析・まとめ小冊子の編集）

社明運動事業後、事務局活動に自主的な協力者が増え“保護司会=更生保護サポートセンター小田原”の運営は円滑に運び、事務量・実践・国家事務補助等業務は増大した。横浜保護観察所、ご指導の下資金も潤沢に確保された。時あたかも、施設の老朽化による移転問題と重なり小田原市ご当局のご理解ご協力により更生保護サポートセンター小田原は、市内飯田岡に移転した。

会員一人一人が崇高な理念の下、“奉仕の心”活動は中庸を保てば発展するであろう。

この契機に私は、会長に推举されたが2期4年となり同志の中で一番会長職に相応しい人に禅譲した。

当会は、国が設置した更生保護サポートセンターの意義を深く理解し、更生保護事業に邁進し共に社会を明るくする運動100周年に向け寄与され、近未来犯罪のない明るい社会が築かれ、平和な日々が到来されることを切望しております。



第十代  
渡邊俊之  
小田原地区保護司会

# ブロック紹介

昭和27年小田原地区保護司会が発足して70周年を迎ますが、この間、関係者のたゆまぬ努力により、40周年記念誌及び60周年記念誌「あゆみ」が発刊され、今回の「10年の絆」に引き継がれています。

ブロックは、中学校区単位になりますが、保護司が5人に満たない場合は、隣接ブロックと統合してブロックを構成します。また、地元中学校と連携して諸行事を推進します。

また、保護司の職務に関する研修・意見発表・協力雇用主の開拓、社会を明るくする運動、各種研修会及び行事に参加等々、日々努力されている保護司を紹介いたします。

令和3年の社会を明るくする運動の挨拶で菅首相は、「犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、安全で安心な明るい地域社会を築くため」と表明されており保護司は、その一翼を担っております。

各ブロックの紹介記事には、その地域の中学校、中学校区の連合自治会名、及び各自治会名とその地域にある施設や史跡を紹介しています。

## 小田原地区保護司会のブロック構成

保護司会は、下図の各中学校区にある連合自治会と連携して「明るい地域社会を築く」活動を推進しています。



## ブロック長(連絡員)名簿

(令和3年4月16日現在)

ナレーター(追加版) 古川				
国府津・橋ブロック	城北ブロック	泉ブロック	千代ブロック	鴨宮ブロック
廣本 まさ子 (磯崎 イサ子)	小澤 峰雄	竹繩 キヨ子	宮崎 彰典	神谷 賢治
城山・城南ブロック	白鷗ブロック	白山ブロック	酒匂ブロック	
松岡 輝宏 (菊地 淳)	尾崎 節子	岡野 心平	島津 三喜子	

## ブロック紹介：城山・城南ブロック



(更生保護サポートセンター小田原の玄関前にて)

メンバー：後列 松井達英、松岡輝宏(ブロック長)、菊地淳(連絡員)  
前列 青木孝司、鈴木重司、小島君予

城山ブロックは、中心市街地といわれるエリアと、平成22年3月31日をもって閉校となつた旧片浦中学校区をエリアとしております。

中心市街地には、横浜保護観察所小田原駐在官事務所や横浜地方裁判所小田原支部、横浜家庭裁判所小田原支部などの官公庁の他、研修会場として使用しているUME COや令和3年9月にオープンした三の丸ホールなどの公共施設があります。小田原城や江之浦測候所などの観光施設もあります。

城南ブロックと合同で研修会、懇親会を実施しています。



城山中学校



私立相洋中学校



城南中学校

城南ブロックは、箱根山からの早川の流域、入生田、風祭、早川、板橋等をエリアとしております。

小田原漁港やかまほこで有名な「鈴廣」の他、豊臣秀吉が小田原合戦の本営とした「石垣山一夜城」などもあります。

令和元年7月には、城南中学校において「ホゴちゃん地域の集い」を開催しています。

城山ブロックと合同で研修会、懇親会を実施しています。

城山中学校区：

- 市立城山中学校（校長：中島正視氏・教頭：宮坂宗篤氏）  
・作文コンクールの出品のご協力頂いている。  
・城山中学校区青少年健全育成協議会で連携。

私立明徳学園 相洋中学校

（校長：渡邊祐一氏・教頭：中島貢氏）

- ・作文コンクールの出品を依頼している。

城南中学校区：

- 市立城南中学校（校長：加藤直樹氏・教頭：中村栄江氏）  
・作文コンクールの出品のご協力頂いている。  
・城南中学校区青少年健全育成協議会で連携

城山中学校区：

連合自治会

緑連合自治会（会長：土谷、正光氏）8自治会

第1区、小田原駅前第2区、第3区、浦町、第4区、第5区、竹花、小田原銀座  
万年連合自治会（会長：加藤芳永氏）5自治会

17区、18区高梨町、19区、20区-1、20区-2青物町

幸連合自治会（会長：渡辺光男氏）7自治会

21区、22区、23区、24区、25区、26区、27区

十字連合自治会（会長：本多誠一氏）5自治会

28区、29区、30区、31区、32区

片浦連合自治会（会長：鈴木裕章氏）4自治会

石橋、米神、根府川、江之浦

新玉連合自治会（会長：池田尚文氏）2自治会

台宿、大工町

芦子連合自治会（会長：金子和充氏）4自治会

上谷津、中谷津、下谷津、入谷津

- ・社会を明るくする運動のポスター掲示にご協力頂いている。

城南中学校区

連合自治会

早川連合自治会（会長：青木祐伸氏）5自治会

木地挽、みなと、西組、中組、東組

大窪連合自治会（会長：石幡保雄氏）7自治会

第58区、第59区、第60区、第61区、第62区風祭、第63区入生田、第64区

- ・社会を明るくする運動のポスター掲示にご協力頂いている。

- ・早川青少年健全育成連絡協議会で連携。

## 地域の公共施設・史跡



小田原三の丸ホール



おだわら市民交流センター UME CO

## ブロック紹介：白鷗ブロック



(白鷗中学校玄関前にて)

メンバー：庵原和子、尾崎節子（ブロック長）、瀬戸昌子、天利静子、杉山隆一、山崎由起子

白鷗中学校は新玉小、山王小、町田小の各学校から構成されている。中学校区在住の保護司と年に一度、顔合わせを兼ね意見交換をしている。中学校区青少年育成連絡協議会には、地区保護司代表が顧問として参加をしている。寒い季節におばあちゃんが自宅前のベンチに腰掛け陽だまりの暖かさを楽しんでいる。登校中の生徒たちが、おばあちゃんに声かけ挨拶をしている光景を時々見かける。お年寄りを大切にする地域である。

### 白鷗中学校区

市立白鷗中学校（校長：稻毛真弓氏・教頭：綾部敏信氏）

- 作文コンクールの出品のご協力頂いている。
- 白鷗中学校区青少年健全育成連絡協議会で連携。

### 連合自治会

新玉連合自治会（会長：池田尚文氏）6自治会

第9区、第10区、第11区、第12区、

第13区、新宿

万年連合自治会（会長：加藤芳永氏）2自治会

第15区、第16区

山王網一色連合自治会（会長：森正氏）5自治会

山王松原、山王西、山王東、山王70区、網一色

足柄連合自治会（会長：柳下登氏）6自治会

第33区、セントラルハイツ、第34区、第35区、第36区、第37区

- 社会を明るくする運動のポスター掲示にご協力頂いている。



白鷗中学校

## 地域の公共施設・史跡



白鷗中学校との連絡協議会の一コマ



小田原藩主 大久保忠真 二宮金次郎を表彰の地  
(領内の働き者と親孝行の者などが表彰を受けたとされる記念碑)

## ブロック紹介：白山ブロック



（報徳更生寮の玄関前にて）

メンバー：後列：菊地映江、山本和子、関伸平

前列：岡野心平(ブロック長)、田村正美、山地博、高瀬敏明、小野衛二

白山ブロックは、箱根山を源にする久野川が流れ荻窪用水がはしる小田原市西部に位置し、最寄り駅は小田急線足柄駅・大雄山線井細田駅・同五百羅漢駅になります。

芦子・足柄・久野地区を受持ち区とし、市役所・県合同庁舎・税務署・拘置所・市立病院・報徳更生寮、そして県立諏訪の原公園・フラワーガーデン、富士フィルム工場、アマゾン物流倉庫などがあり、日本先端大学の開学・イオンタウンの進出が予定されている地区です。

### 白山中学校区

市立白山中学校（校長：村上晃一氏・

教頭：生月一良氏）

・小田原市白山学区青少年育成協議会で連携。



### 連合自治会

久野連合自治会（会長：湯川増夫氏）16自治会

宮本、久野坂下、京福台、北久保、下宿、久野中宿、山、

星山、中久野、三国、留場、防所、欠の上、舟原、諏訪の原、和留沢、小田原サニータウン

二川連合自治会（会長：奥津竹夫氏）4自治会

井細田1区、第43区、第44区、小田原グリーンタウン

芦子連合自治会（会長：金子和充氏）3自治会

寺町、荻窪、池上

・社会を明るくする運動のポスター掲示にご協力頂いている。

白山中学校玄関

## 地域の公共施設・史跡



小田原フラワーガーデン



小田原フラワーガーデン内



小田原フラワーガーデン内

## ブロック紹介：鴨宮ブロック

(川東タウンセンターマロニエのモニュメント前にて)



メンバー：大木隆雄、佐々木奈保美、石川明、神谷賢治(ブロック長)、堀田浩美、小林幸一

鴨宮中学校区の鴨宮ブロックは、下府中連合自治会、豊川連合自治会の飯泉地区からなる地域です。最寄り駅は、東海道本線の鴨宮駅になり、大型商業施設もある地域です。地域内には、小田原市川東タウンセンターマロニエがあり、行政サービスや色々な催し、会議、子育て支援等に使用されています。

鴨宮中学校区

市立鴨宮中学校

(校長：永山健治氏・教頭：北川誠氏)

- 作文コンクールの出品のご協力頂いている。
- 鴨宮中学校地域連絡協議会で連携。
- 鴨宮中学校学校評議会に参画。



連合自治会

下府中連合自治会（会長：荒木慶市氏）11自治会

下堀、中里1区-1、中里1区-2、中里2区、矢作、鴨宮2区、鴨宮3区、鴨宮4区-1、  
鴨宮4区-2、鴨宮5区、大道、

豊川連合自治会（会長：植村久夫氏）3自治会

飯泉1区、飯泉2区、飯泉3区、

- 社会を明るくする運動のポスター掲示にご協力を頂いています。
- 地域の集い(ミニ集会)等の開催にご協力を頂いています。

鴨宮中学校

## 地域の公共施設・史跡



小田原市川東タウンセンターマロニエ



中里遺跡

1952年に土器が出土し、1990年代から発掘調査により、東日本最大規模の弥生時代のムラであることが分かりました。現在は、ダイナシティーとして開発されています。(ダイナシティーの碑文より)

## ブロック紹介：千代ブロック



(梅の里センター入口にて)

メンバー：宮崎彰典(ブロック長)、石井典克、大場得道、穂坂昇、松原宣孝

千代中学校区の千代ブロックは、上府中連合自治会、曾我連合自治会、下曾我連合自治会及び豊川連合自治会の一部からなる地域です。最寄り駅は、御殿場線の下曾我駅、上大井駅及び小田急線の栢山駅、富水駅になります。地域内には、梅の里センターやみのり館等があり、色々な催しに使用されています。

千代中学校区：

市立千代中学校（校長：栢本尚之氏・

教頭：小野寺敏子氏）

- 作文コンクールの出品のご協力頂いている。
- 中学校区青少年育成連絡協議会で連携。



連合自治会

上府中連合自治会（会長：沖山明氏）

千代中学校

高田別堀西、高田別堀南、高田別堀東、上千代、上原、下千代、永塚、東大友、  
西大友、延清

曾我連合自治会（会長：新鹿勲氏） 8自治会

上曾我、中河原、下大井、鬼柳、曾我大沢、春木住宅、籠場住宅、花里住宅

下曾我連合自治会（会長：曾我祐行） 6自治会

曾我原、曾我谷津、曾我岸、曾我別所、曾我神戸、曾我山岸

豊川連合自治会（会長：植村久夫） 5自治会

東成田、西成田、成和、富士見、桑原

- 社会を明るくする運動のポスター掲示にご協力頂いている。
- 地域の集い(ミニ集会)の開催にご尽力頂いている。

## 地域の公共施設・史跡



梅の里センター



曾我みのり館

## ブロック紹介：城北ブロック



(尊徳記念館の館内にて)

メンバー：石黒智彦、小澤峯雄(ブロック長)、井上淳一、長谷川好雄、福田美千代

コロナの影響の為、今後の活動等の説明打合せする時間がとれません。わずかな時間調整で活動説明に注意する10月17日日曜日午前10時尊徳記念館集合、ブロック写真完成です。今日1日中雨予想の為、屋内で撮影しました。記念館、職員の皆様の協力をいただきまして良い写真が撮影出来、心からお礼申し上げます。

### 城北中学校区：

市立城北中学校（校長：平田渉氏・教頭：北村しのぶ氏）

- 作文コンクールの出品のご協力頂いている。
- 中学校区青少年育成連絡協議会で連携。



### 連合自治会：

桜井連合自治会（会長：宮内宏人氏）13自治会  
寺下、高河原、河原庭、西之庭、新屋敷、浅原、  
東栢山中の町、東栢山学校前、東栢山城北、  
東栢山道、東栢山道上、西栢山、弥生

城北中学校

### 富水連合自治会 3自治会 柳新田、小台、新屋

東富水連合自治会（会長：加藤敏氏）1自治会 堀之内

- 社会を明るくする運動のポスター掲示にご協力頂いている。
- 地域の集い(ミニ集会)の開催にご尽力頂いている。

## 地域の公共施設・史跡



尊徳記念館



尊徳記念館（二宮尊徳生家）

## ブロック紹介：泉ブロック



(更生保護サポートセンター小田原の正面玄関にて)

メンバー：後列 石井智子、竹縄キヨ子(ブロック長)、鈴木香  
前列 高橋義雄、阿久津如生、遠藤和夫

その昔、近くでこんこんと湧く「泉」に因んで付けられた中学校校名を冠する私たちのブロックは、足柄平野の中央に位置し酒匱川と狩川に挟まれて富士山を間近に仰いで暮らせる自然豊かな地域です。先輩諸兄から引き継いできた泉中学校評議員会、中学校正門での月2回の「朝のあいさつ運動」、及び全会員が参加する校区保護司情報交換会など中学校との連携をしっかりと保ち、明るい地域社会づくりの活動をしています。

### 泉中学校区

市立泉中学校（校長：小田中大直氏・教頭：長谷川弘子氏）

- ・作文コンクールの出品のご協力頂いている。
- ・「朝の挨拶運動」への参加。
- ・学校評議員会への出席。



### 連合自治会

富水連合自治会（会長：木村秀昭氏）13自治会

飯田岡本村、飯田岡若宮、飯田岡飯中、飯田岡楠、池田、

府川、久所、仲沢、北ノ窪、穴部、穴部新田、上清水、下清水

泉中学校

東富水連合自治会（会長：加藤敏氏）15自治会

蓮正寺第1、蓮正寺第2、蓮正寺第3、蓮正寺第4、蓮正寺第5、螢田駅前、霞ノ瀬、狩川、

螢生会、蓮正寺住宅、よし田、螢田中央、中曾根、飯田岡東、堀之内

桜井連合自治会 1自治会 柳町

- ・社会を明るくする運動のポスター掲示にご協力頂いている。
- ・地域の集い(ミニ集会)の開催にご尽力頂いている。

## 地域の公共施設・史跡



城北タウンセンターいづみ



小田原アリーナ

## ブロック紹介：国府津・橋ブロック



メンバー：本多和彦、磯崎イサ子(連絡員)、内田建二



後列：岸幸雄、富松国雄、  
前列：廣本まさ子(ブロック長)、北河文子

国府津は小田原市の東部にある地区です。  
海、相模湾に臨む国府津海岸  
山、(結の山) →いずれも最寄り駅は国府津駅。  
・国府津から曾我丘陵を尾根づたいに曾我の里へ。  
・弁天山トンネルは小田原市の上町へ(橋へ)  
・高山(こうやま)は、小田原市と中井町の境に位置し曾我山や下曾我駅へ。  
鉄道(国府津駅)ありの歴史が深い地域です  
その地域の中に小学校・中学校があります。  
※最寄り駅はJR東日本 国府津駅。

JRの境界駅(鴨宮駅・二宮駅)

御殿場線

路線バスも同じ。

橋中学校区の橋ブロックは、前羽連合自治会と橋北連合自治会からなる地域です。

前羽地区においては海に面し、その昔は漁が盛んで新鮮な魚が沢山とれました。

橋地区は、農耕作物等も盛んで、現在は下中ブランドと称して玉葱の栽培から収穫まで広い範囲に渡り展開しています。地域活動も盛んで老若男女皆で参加する行事にも力を入れています。環境にも恵まれ住み良い地域です。



国府津中学校



橋中学校

### 市立国府津中学校

(校長：市川嘉裕氏 教頭：伊豆浦 貴氏)

- ・作文コンクールの出品のご協力を頂いています。
- ・中学校区青少年健全育成協議会

### 連合自治会：

#### 国府津連合自治会

(会長：川口博三氏) 16自治会

国府津1区、国府津2区、国府津3区、  
国府津4区、国府津5区、国府津6区、  
国府津7区、国府津8区、国府津9区、  
国府津10区、国府津11区、国府津12区、  
国府津15区、国府津16区、国府津18区、  
国府津19区

- ・社会を明るくする運動のポスター掲示にご協力頂いている。
- ・地域の集い(育成協主催のミニ集会)の開催にご尽力頂いている。

### 市立橋中学校

(校長：磯辺彦氏・教頭：米山由美子氏)

- ・作文コンクールの出品のご協力頂いている。
- ・中学校、民生主任児童委員、保護司との連絡会を年2回実施。
- ・社会を明るくする運動のポスター掲示にご協力頂いている。

### 橋北連合自治会

(会長：森下康二氏) 20自治会

中村原第1区、中村原第2区、中村原第3区、  
中村原住宅、中村原第6区、中村原第7区、  
小船第1区、小船第2、山西、小竹下、  
小竹打越、小竹坂呂、小竹脇、明沢、沼代、  
上町、橋団地一般住宅、さつきが丘、  
湘南橋台住宅、若葉台

前羽連合自治会 (会長：瀧澤純氏) 6自治会

西、中宿、向原、町屋、押切、羽根尾

- ・社会を明るくする運動のポスター掲示にご協力頂いている。
- ・中学校区橋北青少年健全育成協議会との連携。

## 地域の公共施設・史跡

国府津小学校 体育館 社会福祉協議会で敬老会等開催

国府津中学校 体育館 育成協議会でミニ集会等開催



生涯学習センター国府津学習館



橋タウンセンター こゆるぎ



田島横穴古墳跡



横穴洞窟



小田原市下中老人憩の家

## ブロック紹介：酒匂ブロック



(小田原市保健センター玄関前にて)

メンバー：村越恵子、島津三喜子（ブロック長）、剣持美和子、渡邊俊之、椎野正幸、藏品隆昌、本多秋晴

酒匂中学校区内の酒匂・小八幡連合自治会、富士見連合自治会から構成される地域です。小田原市社会を明るくする運動酒匂中学校区推進委員会が主催する、酒匂中学校区全体集会『みんなで考えよう地域の絆』が「小田原市保健センター」で開催され、地区集会やミニ集会が各自治会の公民館等で開催されるなど、地域での活動が連綿と受け継がれています。

### 酒匂中学校区：

市立酒匂中学校（校長：高松宗氏・教頭：初瀬川孝夫氏）

- 作文コンクールの出品にご協力頂いている。
- 酒匂中学校区青少年健全育成協議会で連携。



### 連合自治会

酒匂・小八幡連合自治会

（会長：譲原春夫氏）26自治会

酒匂1区、酒匂2区、酒匂3区、酒匂4区、酒匂5区、  
酒匂6区、酒匂7区、酒匂8区、酒匂9区、酒匂10区、  
酒匂11区、酒匂12区、酒匂13区、酒匂14区、  
酒匂15区、酒匂16区、酒匂17区、

小八幡1区、小八幡2区、小八幡3区、小八幡4区、小八幡5区、  
小八幡6区、小八幡8区、小八幡9区、小八幡10区

富士見連合自治会（会長：関野次男氏）5自治会

南鴨宮1区、南鴨宮2区、南鴨宮3区、南鴨宮4区、南鴨宮5区

- 社会を明るくする運動のポスター掲示にご協力頂いている。
- 社会を明るくする運動酒匂中学校区全体集会の開催にご尽力頂いている。

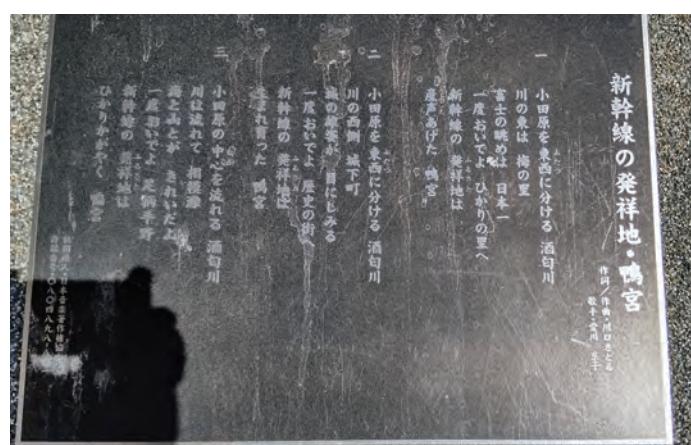
## 地域の公共施設・史跡



小田原市保健センター



新幹線の発祥地・鴨宮



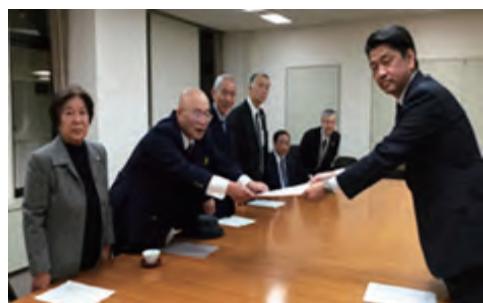
新幹線の発祥地・鴨宮 歌詞

## 保護司会の行事及び国内時事

(令和3年11月迄)

年度	保護司会の行事	国内時事
平成24年 (2012年)	4月 総会の開催 6月 第62回社会を明るくする運動ポスター掲示 7月 社会を明るくする運動街頭宣伝 8月 報徳更生寮清掃奉仕活動 相模原中央地区保護司会との交流会 10月 金沢刑務所視察研修(石川県) 2月 更生保護女性会との交流会 定例研修会の実施4回(保護観察所による)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京スカイツリー(634m)開業</li> <li>・山中伸弥教授 IPS細胞研究でノーベル生理学・医学賞受賞</li> </ul>
平成25年 (2013年)	4月 総会の開催 6月 第63回社会を明るくする運動ポスター掲示 「中学生作文コンテスト」募集 7月 社会を明るくする運動街頭宣伝 8月 報徳更生寮清掃奉仕活動 10月 石巻市視察と現地保護司会との交流会(宮城県) 1月 更生保護サポートセンター小田原の開設(城山) 2月 更生保護女性会との交流会 定例研修会の実施4回(保護観察所による)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士山が世界遺産の登録</li> <li>・交通系ICカードの全国相互利用サービス開始</li> </ul>
平成26年 (2014年)	4月 総会の開催 6月 第64回社会を明るくする運動ポスター掲示 「中学生作文コンテスト」募集 7月 社会を明るくする運動街頭宣伝 8月 報徳更生寮清掃奉仕活動 役員研修(北区更生保護サポートセンター見学) 11月 宮川医療少年院(三重県) 2月 更生保護女性会との交流会 定例研修会の実施4回(保護観察所による)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙飛行士若田光一氏が日本人初の国際宇宙ステーション船長に就任</li> <li>・富岡製糸場が世界文化遺産に登録</li> </ul>
平成27年 (2015年)	4月 総会の開催 6月 第65回社会を明るくする運動ポスター掲示 「中学生作文コンテスト」募集 7月 社会を明るくする運動街頭宣伝 8月 報徳更生寮清掃奉仕活動 11月 喜連川社会復帰促進センター(栃木県) 2月 更生保護女性会との交流会 定例研修会の実施4回(保護観察所による)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸新幹線開業</li> <li>・夏の高校野球で東海大相模優勝</li> </ul>
平成28年 (2016年)	4月 総会の開催 6月 第66回社会を明るくする運動ポスター掲示 「中学生作文コンテスト」募集 7月 社会を明るくする運動街頭宣伝 小田原地区保護司会記念事業 「市民の集い・記念コンサート」開催 8月 報徳更生寮清掃奉仕活動 10月 水府学院(茨城県)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リオオリンピック・パラリンピック開催(ブラジル)</li> <li>・マイナンバー制度運用開始</li> </ul>

年度	保護司会の行事	国内時事
平成 28 年 (2016 年)	2月 更生保護女性会との交流会 定例研修会の実施 4回(保護観察所による)	
平成 29 年 (2017 年)	4月 総会の開催 6月 第 67 回社会を明るくする運動ポスター掲示 「中学生作文コンテスト」募集 7月 社会を明るくする運動街頭宣伝 社会を明るくする運動「地域の集い」 (城北タウンセンターいづみ) 8月 報徳更生寮清掃奉仕活動 10月 松本少年刑務所(長野県) 2月 更生保護女性会との交流会 定例研修会の実施 4回(保護観察所による)	・上野動物園で赤ちゃんパンダ誕生 香香(シャンシャン)と命名
平成 30 年 (2018 年)	定例研修会の実施 4回(保護観察所による) 4月 総会の開催 5月 施設研修「小田原少年院」 6月 第 68 回社会を明るくする運動ポスター掲示 「中学生作文コンテスト」募集 7月 社会を明るくする運動街頭宣伝 社会を明るくする運動「地域の集い」 (川東タウンセンターマロニエ) 8月 報徳更生寮清掃奉仕活動 2月 更生保護女性会との交流会	・韓国平昌(ピョンチャン)で冬季オリンピック開催(メダル 13 個獲得) ・豊洲市場開場 ・高校野球が第 100 回大会を開催
平成 31 年 4月	定例研修会の実施 3回(保護観察所による) 3月 小田原少年院廃庁	・新天皇即位 平成から令和に ・ラグビーワールドカップ開催
令和元年 5月 (2019 年)	4月 総会の開催 6月 第 69 回社会を明るくする運動ポスター掲示 「中学生作文コンテスト」募集 7月 社会を明るくする運動街頭宣伝 社会を明るくする運動「地域の集い」 (小田原市立城南中学校) 8月 報徳更生寮清掃奉仕活動 12月 12 日(木)小田原市における再犯防止施策の推進に係る要望について、横浜保護観察所中臣次長、大宮統括官同席のもと、小田原地区保護司会長、小田原市更生保護女性会長、及び更生保護法人報徳更生寮理事長の連名による要望書を加藤憲一小田原市長に手交する 2月 更生保護女性会との交流会	(日本)ベスト 8 ・新型コロナウイルス感染症発生
令和 2 年 (2020 年)	4月 更生保護サポートセンター小田原の移転(城山から飯田岡へ) 保護司会総会中止。書面表決採用 その他行事は中止	・第 1 回緊急事態宣言発出 ・東京オリンピック・パラリンピック 1 年延期決定
令和 3 年 (2021 年)	4月 保護司会総会(UMEKO) その他行事は中止 10月 新任保護司研修会開催 (サポートセンター小田原)	・京都コングレス開催 (国連犯罪防止刑事司法会議) ・ワクチン接種スタート ・東京オリンピック・パラリンピック開催

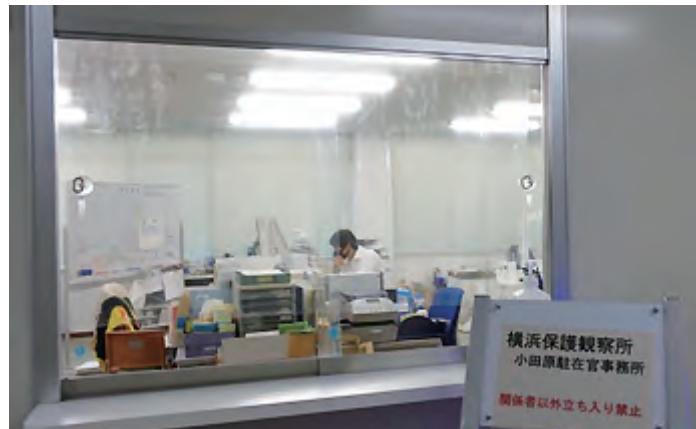


再犯防止施策の推進に係る要望書提出

# 地区関連施設

## 横浜保護観察所 小田原駐在官事務所

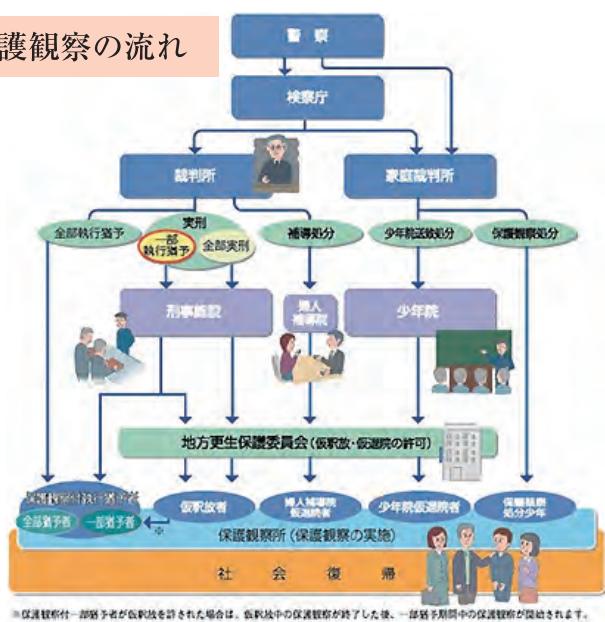
納税者センター青色会館 5階



更生保護制度機構図



保護観察の流れ



## 小田原市役所市民部 人権・男女共同参画課 (小田原地区 保護司会事務局)



## 更生保護法人 報徳更生寮



## 社会福祉法人 小田原市社会福祉協議会



## 観察所長・統括保護観察官・主任官・小田原地区保護司会三役名簿

平成24年からの横浜保護観察所と小田原地区保護司会三役は、下記の通りである。

年 度	所 長	統括保護 観察官	主任官	会 長	副会長		
平成 24 年	関口 裕	-	出口 智章	志村 宗男	武石 友威	香川 勝久	乃美香津子
平成 25 年	中川 利幸	-	出口 智章	志村 宗男	香川 勝久	乃美香津子	-
平成 26 年	西瀬戸伸子	-	宇佐美圭司	志村 宗男	香川 勝久	乃美香津子	-
平成 27 年	田中 一哉	-	森 京子	渡邊 俊之	杉山 隆一	大場 得道	加藤 智子
平成 28 年	田中 一哉	富田 潤一	小澤 直幸	渡邊 俊之	杉山 隆一	大場 得道	加藤 智子
平成 29 年	田中 一哉	吉原 直深	吉原 直深	渡邊 俊之	大場 得道	-	-
平成 30 年	三本松 篤	吉原 直深	吉原 直深	渡邊 俊之	大場 得道	-	-
平成 31 年 (令和元年)	三本松 篤	大宮 巧	高島 和明	大場 得道	阿久津如生	遠藤 和夫	瀬戸 昌子
令和 2 年	杉山 弘晃	大宮 巧	川口 瑞子	大場 得道	阿久津如生	遠藤 和夫	瀬戸 昌子
令和 3 年	滝田 裕士	中原 謙次	川口 瑞子	大場 得道	阿久津如生	遠藤 和夫	-



# 総務部会の活動について

副部会長 宮崎 彰典

## 活動概要

総務部会は、年度初めの保護司会総会の準備・運営、年末の受賞報告・祝賀会及び新年の賀詞交歓会の準備・運営を執り行っています。10年の変遷により受賞報告・祝賀会と賀詞交換会を兼ねる方法を平成31年から採用しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により、緊急事態宣言が発せられオリンピック・パラリンピックが、史上初めて1年延期という事態になりました。

保護司会を含め世間一般でも対面活動が、出来なくなり初めて書面表決という方法で、総会に変わったやり方で開催しました。

令和3年度は、オリンピック・パラリンピックの年でもあり、コロナ感染の猛威は、少しずつ減少傾向ではあったが、まん延防止等重点措置が発せられ3密を避けての2年振りの保護司会総会を開催することが出来たことは、会員皆さまの協力があった賜物と感謝申し上げます。1年振りの再開に懐かしく思った方もおられると思います。

また、総務部会の平成24年から10年間の歴代部会長は、下表の通りで、先輩諸氏のご尽力に深謝申し上げます。

## 歴代の部会長・副部会長名簿

年 度	平成 24 年	平成 25 年～ 26 年	平成 27 年～ 28 年	平成 29 年～ 30 年	平成31(令和元年) ～令和 2 年	令和 3 年
部 会 長	守屋 光人	大場 得道	長谷川好雄	遠藤 和夫	遠藤 和夫	遠藤 和夫
副部会長	加藤 智子	長谷川好雄 新井 知功	中嶋 政和 奥津 康夫 新井 知功 天利 静子	新井 知功	宮崎 彰典	宮崎 彰典
会 計	佐藤 和子	佐藤 和子 中嶋 政和	中嶋 政和 奥津 康夫	島津三喜子 釽持 卓雄	島津三喜子 菊地 淳	島津三喜子 菊地 淳
書 記	-	長谷川好雄 新井 知功	新井 知功 天利 静子	新井 知功	島津三喜子 菊地 淳	島津三喜子 菊地 淳

## 協力組織部会の活動について

部会長 松岡 輝宏

### 活動概要

地域活動への協力、他団体との交流、関係機関との協力など多方面にわたって、可能な活動を皆さんと共に実施していくのが協力組織部の主な活動になります。

報徳更生寮の清掃奉仕活動は令和3年度で32回を迎える、併せてかけはし講座も実施しています。

小田原市更生保護女性会との交流会も毎年実施しています。

小田原地区BBS会との交流、社会を明るくする運動の一環として平成30年からは UMECO 祭りに参加し、令和2年度からは赤い羽根共同募金活動への協力を続けています。

### 歴代の部会長・副部会長名簿

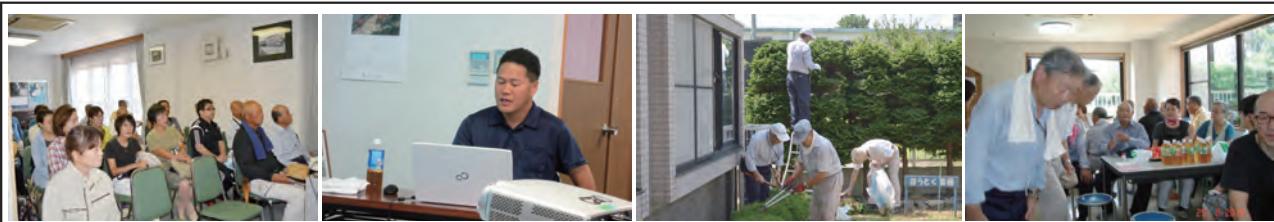
年 度	平成 24 年	平成 25 年～ 26 年	平成 27 年～ 28 年	平成 29 年～ 30 年	平成 31(令和元年) ～ 26 年	令和 3 年
部 会 長	細川 真良	加藤 智子	門松 文三	小澤 峰雄	松岡 輝宏	松岡 輝宏
副部会長	-	門松 文三	飯田 忠幸	劔持美和子	鈴木 重司 尾崎 節子	鈴木 重司 尾崎 節子

### 活動の記録

年 度	日 時	場 所	内 容
平成 24 年度	6月1日	かもめ図書館	小田原市更生保護女性会(以降「更女」とする)との交流会 映画鑑賞
	8月26日	報徳更生寮	清掃奉仕活動
平成 25 年度	8月25日	報徳更生寮	清掃奉仕活動
	2月19日	秦野精華園、大磯吉田邸	更女との交流会 見学
平成 26 年度	8月24日	報徳更生寮	清掃奉仕活動
	2月18日	横浜家庭裁判所小田原支部	更女との交流会 見学
平成 27 年度	8月23日	報徳更生寮	清掃奉仕活動
	2月19日	ほうあん第一しおん、 第二しおん(根府川)	更女との交流会 見学
平成 28 年度	8月28日	報徳更生寮	清掃奉仕活動
	2月17日	ゆりかご園(酒匂)	更女との交流会 見学

年 度	日 時	場 所	内 容
平成 29 年度	6月27日	東京農業大学、旧白洲邸	東京農業大学、旧白洲邸
	8月27日	報徳更生寮	清掃奉仕活動
	2月15日	エリザベスサンダースホーム	更女との交流会 見学
   			
<p>↑ 東京農業大学食と農の博物館 ↑ 旧白洲邸(武相莊) 日本国憲法の成立に深くかかわりのある白洲次郎邸</p>		<p>↑ エリザベスサンダースホーム 創立時・混血乳幼児收容施設 次年度より児童養護施設に認可</p>	
平成 30 年度	6月27日	日本赤十字神奈川支部、三溪園	更女との交流会 見学
	8月26日	報徳更生寮	清掃奉仕活動
	11月25日	小田原市民交流センター UMECO	UMEKO 祭り参加
	2月4日	小田原市川東タウンセンター マロニエ	更女との交流会 見学 県更生保護協会 石原昌信副理事長の講演
  			
<p>↑ 報徳更生寮清掃奉仕活動</p>		<p>↑ 義援金贈呈</p>	
			
<p>↑ UMEKO 祭り 小さい子も参加・ぬりえに挑戦</p>		<p>↑ 小田原短期大学生による寸劇</p>	
			
<p>↑ 餅つき 5者連携 初参加(絆づくり)</p>			
平成 31 年度 (令和元年)	8月25日	報徳更生寮	清掃奉仕活動 かけはし講演「報徳更生寮の歴史と現状」職員 石井精司氏
	11月16日	小田原市川東タウンセンター マロニエ体育館	小田原地区 BBS 会の活動への協力 県 BBS 連盟 70 周年記念スポーツ大会参加
	11月24日	小田原市民交流センター UMECO	UMEKO 祭り参加
	12月1日	報徳更生寮	餅つき参加(参加者 5 名)
	2月18日	大雄山最乗寺	更女との交流会 見学

## 令和元年の活動



↑ 石井精司氏による講演のようす

↑ 報徳更生寮清掃奉仕活動

平成 31 年度  
(令和元年)



↑ 県 BBS 連盟 70 周年記念スポーツ大会参加



↑ UMECO 祭り

↑ 大雄山最乗寺

年 度	日 時	場 所	内 容
令和 2 年度	6月 27 日	更生保護サポートセンター小田原	更女、BBS 会、小田原地区保護司会での三者会談
	9月 27 日 10月 27 日 10月 11 日 18、25 日 11月 1 日	報徳更生寮	清掃奉仕活動 かけはし講演報徳更生寮の紹介ビデオ 職員 田村正美氏 (コロナ禍のため初の試みとしてブロック単位に分散し 5 回に分けて行われた)
	10月 6 日	おだわら総合医療福祉会館	神奈川県共同募金会小田原支会へ「赤い羽根」の共同募金
	2月 26 日	更生保護サポートセンター小田原	小田原市の人権・男女共同参画課担当者、更女、BBS 会、小田原地区保護司会での四者会談
	10月 3 日 10、17 日 24、31 日	報徳更生寮	清掃奉仕活動 かけはし講演ビデオ「あなたの街の保護司さん」 (コロナ禍のためブロック単位に分散し 5 回に分けて行われた)
令和 3 年度	11月 12 日	おだわら総合医療福祉会館	神奈川県共同募金会小田原支会へ「赤い羽根」の共同募金



↑ 赤い羽根共同募金への寄付



↑ 使用済み切手の回収呼び掛け



↑ 報徳更生寮への支援金贈呈

## いつもと違う



例年八月に実施していましたが、コロナ禍でなかなか思うような活動ができず、三密を避けコロナ対策をして、清掃活動、かけはし講演、ブロック会議を実施しました。全員が集まることができないので五回に分散して日を設定して、九月から十月にかけて実施しました。そして清掃分担場所を振り分けて実行しました。

更生寮の資料によると、保護司会による清掃活動は昭和六十三年から始まり、今年で三十二年目になり、長年にわたっての活動が続けられて今日に至っています。

### 報徳更生寮の清掃

#### 日程(令和2年度)

- ◎ 清掃活動、講演、ブロック会議
  - 9/27 城山・城南ブロック
  - 10/11 白山ブロック、白鷗ブロック
  - 10/18 鴨宮・千代ブロック
  - 10/25 国府津・橋ブロック、酒匂ブロック



令和三年十月二十四日  
報徳更生寮清掃活動、かけはし講座



# 犯罪予防部会の活動について

部会長 阿久津 如生

犯罪や非行を防止し社会が明るくなるようにとの願いのもと、安心・安全な地域の実現に向けた啓発活動を行っています。最近は、新型コロナウィルス感染対策のため非接触型の広報活動が中心ですが、例年、外に出る接触型の啓発活動を含めて、次のとおり取組んできました。

## 1 「社会を明るくする運動」関係

### (1) 小田原市社会を明るくする運動推進委員会主催

小田原市社会を明るくする運動推進委員会を構成し、広報活動（7/1～7/31 の強調月間における全自治会250か所のポスター掲示、公用車による広報等）、街頭宣伝活動（7/1を中心分散した市内の会場でキャンペーンを実施）、ミニ集会（年間を通して各ブロックの実情に応じた集会を実施）及び作文コンテスト（6～12月に中央推進委員会、県推進委員会に呼応し中学生を対象に実施）等について協議を重ね活動を展開しています。また、コロナ禍で事業が縮小するなかでは、「更生保護の日」に合せた小田原城のライトアップが行われました。（令和2年7月1日。表紙に掲載）

### (2) 小田原地区保護司会主催

社会を明るくする運動の安全で安心な明るい地域社会を築くための主体的な取り組みとして、平成28年度から関係機関・団体等の協力をいただきながら“地域の集い”を開催しています。



啓発マグネットシート貼付公用車による市内巡回(例年実施)

## 2 薬物乱用防止啓発活動

神奈川県知事から2年毎に選任を受けた薬物乱用防止指導員（6～7名）を中心に神奈川県薬物乱用防止推進協議会活動に参加すると共に、薬物乱用防止推進地域連絡会等を通して薬物乱用防止啓発活動を行っています。

5～6月 不正大麻・けし撲滅運動

広報強化月間 6～7月 「ダメ。ゼッタイ」普及運動

10～11月 麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動

## 3 学校連携

各ブロックの実情に応じ、市内中学校における評議員会、意見交換会、あいさつ運動、及び作文コンテスト募集（再掲）等の機会を捉え青少年育成活動を行っています。



## 歴代の部会長・副部会長

作文コンテスト入賞作品集  
(令和元年度)

年 度	平成24年	平成25年～ 26年	平成27年～ 28年	平成29年～ 30年	平成31(令和元年) ～令和2年	令和3年
部 会 長	町田 達哉	町田 達哉	高橋 昇	高橋 昇	阿久津如生	阿久津如生
部 会 長	-	渡邊 俊之	田村 正美	山地 博	椎野 正幸	椎野 正幸
部 会 長	-	-	-	-	青木 孝典	-

1 - (1) 1 中学生作文コンテスト（敬称略）

年 度	実施結果（上段=応募状況、下段=小田原市推進委員会入賞者）				
24年度 (第62回)	参加校 6 (城山、城南、城北、白山、鴨宮、千代)、応募総数 200人、学校推薦数 10作品				
	◎中尾 翠(城北中3)	渡辺 望(白山中2)	知念 美涼(城南中3)	津田 春乃(城南中3)	山科 友子(城北中3)
25年度 (第63回)	参加校 8 (城山、城南、城北、白山、酒匂、鴨宮、千代、国府津)、応募総数 292人、学校推薦数 13作品				
	◎廣井 聰史(城山中3)	伊東 未羽(城南中3)	矢部 寛泰(酒匂中2)	鈴木 瑞奈(城南中3)	塩月 涼帆(城北中3)
26年度 (第64回)	参加校 6 (城山、城南、泉、千代、国府津、橋)、応募総数 360人、学校推薦数 12作品				
	◎瀬戸めぐみ(国府津中3)	北村 太一(橋中2)	小酒部 美咲(千代中1)	高橋 美里(千代中1)	小澤 柚里(城山中3)
27年度 (第65回)	参加校 7 (城山、城南、城北、泉、千代、国府津、橋)、応募総数 323人、学校推薦数 12作品				
	◎三廻部 卓弥(千代中2)	内藤 詩乃(橋中2)	実方 淳希(千代中2)	明 柚舞(国府津中3)	府川 晃士(泉中3)
28年度 (第66回)	参加校 8 (城山、城南、白鷗、泉、千代、鴨宮、国府津、橋)、応募総数 342人、学校推薦数 10作品				
	◎鈴木 胡桃(城南中3)	志澤 涼香(橋中2)	五味 将太(千代中2)	川邊 大聖(泉中3)	小川 凱矢(城山中3)
29年度 (第67回)	参加校 7 (城山、城南、白山、白鷗、泉、千代、国府津)、応募総数 217人、学校推薦数 12作品				
	◎一寸木 悠人(白山中3)	曾我 真梨絵(城山中2)	加藤 球(白山中3)	柳川 天音(千代中1)	廣田 匠(泉中3)
30年度 (第68回)	参加校 6 (城山、城南、泉、鴨宮、千代、国府津)、応募総数 403人、学校推薦数 12作品				
	◎長瀬 万喜(国府津中3)	赤川 紗愛(鴨宮中3)	加古 麻愛(国府津中3)	加藤 咲喜子(城南中3)	関 真瑚(城山中2)
令和元年度 (第69回)	参加校 9 (相洋、城南、城山、城北、酒匂、泉、千代、国府津、橋)、応募総数 217人、学校推薦数 17作品				
	◎山本 達礼(城山中3)	上平 成珠(城南中3)	川口 凜香(泉中3)	長岡 和佳菜(泉中3)	太田 克樹(国府津3)
2年度 (第70回)	新型コロナウイルス感染禍により応募なし				
	—	—	—	—	—
3年度 (第71回)	参加校 7 (城南、城山、白鷗、泉、千代、国府津、鴨宮)、応募総数 256人、学校推薦数 13作品 (審査中)				

1 - (1) 2 ミニ集会の経緯

年 度	実施結果（会場、出席）
平成 24 年度 (第 62 回)	8 学区 (城山、白鷗、鴨宮、千代、酒匂、泉、城北、橋)、延 43 会場、参加 1,681 人
25 年度 (第 63 回)	9 学区 (城山、白鷗、鴨宮、千代、泉、酒匂、城北、国府津、橋)、延 41 会場、参加 1,477 人(保護司 46 人)
26 年度 (第 64 回)	10 学区 (城山、白鷗、鴨宮、千代、泉、酒匂、城北、国府津、橋、白山)、延 42 会場、参加 1,550 人(保護司 63 人)
27 年度 (第 65 回)	10 学区 (城山、白鷗、鴨宮、千代、泉、酒匂、城北、国府津、橋、白山)、延 38 会場、参加 1,698 人(保護司 70 人)
28 年度 (第 66 回)	9 学区 (城山、白鷗、白山、鴨宮、千代、国府津、酒匂、泉、城北)、延 32 会場、参加 1,122 人(保護司 48 人)
29 年度 (第 67 回)	9 学区 (城山、白鷗、白山、鴨宮、千代、国府津、酒匂、泉、城北)、延 42 会場、参加 1,991 人(保護司 104 人)
30 年度 (第 68 回)	10 学区 (城山、白鷗、白山、城南、鴨宮、千代、国府津、酒匂、泉、城北)、延 37 会場、参加 2,049 人(保護司 64 人)
31 年度 令和元年度 (第 69 回)	8 学区 (城山、白鷗、城南、鴨宮、国府津、酒匂、泉、城北)、延 29 会場、参加 1,609 人(保護司 76 人)
2 年度 (第 70 回)	1 学区 (城北)、延 2 会場、参加 175 人
3 年度 (第 71 回)	1 学区 (城北)、延 3 会場、参加 121 人(保護司 9 人) (R3.11.24 現在)

1-(2) 社明運動地域の集い関連（保護司会主催）

年 度	平成28年 (2016年)	平成29年 (2017年)	平成30年 (2018年)	令和1年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)
社会を明るくする運動	第 66 回	第 67 回	第 68 回	第 69 回	第 70 回	第 71 回
名 称	市民の集い&記念コンサート	地域の集い	同左	ホゴちゃん 地域の集い	(同左)	(同左)
対 象 ブロック	市全域	泉	鴨宮・千代	城南・白山	(同左)	(同左)
開催日	7月20日(水)	7月19日(水)	7月20日(金)	7月19日(金)	(2月26日(金))	(7月19日(月))
会 場	小田原市民会館	城北タウンセンターいずみ	川東タウンセンターマロニエ	城南中学校	(UMECO)	(UMECO)
参加者	約1000人	31人	95人	78人	コロナ禍等により中止	
名 称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作文朗読「家族、友達、先生、みんなありがとう」</li> <li>鎌田桃菜(H27城山中3年)</li> <li>・コンサート(寺内タケシ&amp;ブルージーンズ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作文朗読「犯罪を減らすためにできること」</li> <li>川邊 大聖(H28泉中3年)</li> <li>・保護司紹介(泉ブロック)</li> <li>・泉中演劇部</li> <li>・トーンチャイム</li> <li>・オカリナ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作文朗読「やさしい言葉が大きな力に」</li> <li>柳川 天音(H29千代中2年)</li> <li>・保護司紹介(鴨宮・千代ブロック)</li> <li>・鴨中の寸劇</li> <li>・オカリナ</li> <li>・大正琴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作文朗読「もとに戻らないために」</li> <li>加藤 咲喜子(H30城南中3年)</li> <li>・保護司紹介(城南・城山ブロック)</li> <li>・マリンバ演奏</li> <li>・独唱</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作文朗読「社会を明るくする運動」</li> <li>山本 達礼(R1城山中3年)</li> <li>・保護司紹介(城山ブロック)</li> <li>・上平 成珠(R1城南中3年)</li> <li>・保護司紹介(自主研修会)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作文朗読「社会を明るくする運動」</li> <li>同左</li> <li>・保護司紹介</li> <li>・講演(薬物乱用防止)</li> </ul>

2-1 薬物乱用防止指導員名簿(神奈川県薬物乱用防止推進協議会小田原支部を構成する保護司会関連)

期 間	氏 名	資 格
H23.4.1～H25.3.31	石井理美(薬)、渡邊俊之、岩田富夫、高橋昇、小澤峯雄、石綿義弘、山地博(7名)	保護司
H25.4.1～H27.3.31	石井理美(薬)、渡邊俊之、岩田富夫、高橋昇、小澤峯雄、山地博、泰田紀子(7名)	"
H27.4.1～H29.3.31	石井理美(薬)、高橋昇、小澤峯雄、阿久津如生、遠藤和夫、田村正美、松岡輝宏(7名)	"
H29.4.1～H31.3.31	石井理美(薬)、高橋昇、小澤峯雄、松岡輝宏、遠藤和夫、小林幸一、藏品隆昌(7名)	"
H31.4.1～R3.3.31	石井理美(薬)、高橋昇、松岡輝宏、遠藤和夫、小林幸一、藏品隆昌、阿久津如生(7名)	"
R 3.4.1～R5.3.31	阿久津如生、遠藤和夫、松岡輝宏、椎野正幸、鈴木香、藏品隆昌(6名)	"

(薬) : 薬剤師会兼務

令和3年度用ポスター





## 第68回社会を明るくする運動 街頭宣伝



渡邊会長をはじめ多くの保護司、小田原市は加藤市長はじめ担当職員の方が参加。その他関係機関・団体の代表者の方が参加して、アーバンロード駅周辺にて、標語入り啓発物品を一般通行人に配布し運動への協力を呼び掛けました。



## 第67回 社会を明るくする運動「街頭宣伝」



## 第66回社会を明るくする運動「市民の集い・記念コンサート」



小田原市民大ホールにて〈寺内タケシ&ブルージーンズコンサート（上段左）及び作文朗読（上段右）〉



小田原市民会館玄関前にて

# 第67回～第69回 社会を明るくする運動「地域の集い」

## 社会を明るくする運動「第67回」 城北タウンセンター「いずみ」



### ～社会を明るくする運動～

#### 再犯防止啓発活動・地域の集い！

この度、小田原地区保護司会では、第67回社会を明るくする運動の取り組みとして「社会を明るくする運動・再犯防止啓発活動・地域の集い」を開催しました。ご多忙の中、多数の皆様方のご参加をいただきました。

日 時 29.7.19(木)PM18:00～  
会 場 城北タウンセンター「いずみ」2Fホール  
主 催 小田原地区保護司会 後援 小田原市、他  
第1部 招 握 第1部進行：犯罪予防部長 高橋昇  
主催者代表：保護司会会长 小田原市 市長  
横浜保護観察官 横浜保護観察統括保護観察官 渡邊俊之  
富水地区自治会連合会会長（総連合会会長） 加藤憲一  
自己紹介 富水地区社会福祉協議会会長 吉原直深  
富水地区市民生委員見童委員協議会 木村秀昭  
富水地区青少年育成会会長 間中俊雄  
富水地区青少年育成会会長 府川悟志  
小田原市生保女性会会長 磯田待子  
小田原地区BBS会会長 渡辺江梨子  
小田原市議会議員 篠原弘  
川邊大聖君より作文の朗読  
「犯罪を減らすために」

できること」

富水地区保護司会紹介  
第2部：司会進行 泰田紀子  
地域の皆さん演奏、演劇の発表  
泉中学校演劇部発表  
オカリナ・ギターの演奏



一時期、中学校が荒れ地域の人々が環境づくりに懸しみ努力をした。今日の集いに、小・中・高生の姿を見る。作文・演劇・演奏も心が温まり、会場が一休化した。地域の中での「世代間交流」＝「ふれあい教育運動」が「社会を明るくする運動」へつながる。取材を通してそう感じた地域の集いであった。

## 社会を明るくする運動「第68回」 川東タウンセンター「マロニエ」

### ～第68回 社会を明るくする運動～

#### 地域の集い！

《第1部》・主催者挨拶

日 時 30年7月20日(金) 18:00～20:00  
会 場 川東タウンセンター「マロニエ」202  
主 催 小田原地区保護司会  
司会 犯罪予防部会長 高橋昇

犯罪や非行をした人の立ち直りを社会の中で見守り、地域の力で支えていく



† 小田原地区保護司会 会長 渡邊 俊之

† 小田原市長 加藤 憲一

#### 各種団体紹介

小田原市更生保護女性会・地区連合自治会・社会福祉協議会  
青少年育成会・地区市民生委員児童委員協議会・その他の団体

第67回「社会を明るくする運動」作品コンテスト優秀作品賞  
受賞者 千代中 柳川天音さんによる作文の朗読



やさしい言葉が大きな力に



## 社会を明るくする運動「第69回」 城南中学校 体育館

### 第69回 小田原社会を明るくする運動

#### ホゴちゃん地域の集い

##### 《第1部》式典

日 時 令和元年7月19日(金)18時～20時  
会 場 小田原市立城南中学校 体育館  
主 催 小田原地区保護司会  
司会 犯罪予防部副部長 植野正幸

##### ・会長挨拶

7月は社会を明るくする運動の強調月間です。内閣総理大臣メッセージを受け、当保護司会でもRE:スタートを「ホゴちゃん地域の集い」として城南中学校や各団体のご支援、ご協力のもと開催できますこと、厚く御礼申し上げます。これを機に更生保護活動の輪が広がりますことを祈念して挨拶とさせていただきます。

##### ・作文コンテスト入賞作品の紹介

「もともに戻らないために」（一部抜粋）  
過ちを犯して周囲に支援してくれる環境があれば立ち直ることができる。それが当時の前の社会になれば良いと思う。

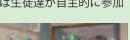
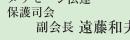
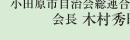
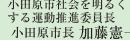
\*第68回社会を明るくする運動 中学生作文コンテストにおいて小田原市（優秀賞）、神奈川県（神奈川県公立中学校長会長賞）の栄誉に輝いた作品

##### ・講話「学区の現状紹介」 城南中学校校長 永井 正

現代などの課題、目に見えない・見つけにくいうところで問題が発生している状況。対応は、子ども自身に気づかせる取り組みとして、人ととの生身の人間としてのコミュニケーションの機会を設けることに重点を置いています。

##### 来賓紹介（敬称略）

横浜保護観察所 総括保護観察官 大宮巧  
小田原市長 加藤憲一  
小田原市自治会連合会会長 木村秀昭  
小田原市立城南中学校長 永井正  
社会福祉協議会常務理事 林良英  
民生委員児童委員協議会副会長 岡田健  
更生保護女性会会長 磯田待子  
青少年健全育成協議会 委員 中島仁  
青少年環境浄化推進委員協議会会長 大場得道  
(保護司会長が兼務)



## 薬物乱用防止啓発キャンペーン 神奈川県薬物乱用指導員協議会・保護司会 平成30年10月21日 会場 ダイナシティ



## 第64回、第67回社会を明るくする運動「ミニ集会」

平成26年7月16日 酒匂中学校校区全体集会会 社明運動

小田原市保健センター

地域の絆

市長の基調講演

生徒達の地域活動報告



平成29年7月7日 国府津中学校区ミニ集会

講師：国府津中学校総括教諭 渡邊仁「国府津中学のスマホ等端末の使用実態と今日的課題」

主催：育成協 場所：国府津中学校体育館



ミニ集会紹介

●地区ミニ集会紹介●  
平成30年度 富水地区ミニ集会  
富水地区青少年育成会  
全体テーマ「地域で取り組む子どもの防犯」

開催日	地区名	場所
7/3	木村・若宮・飯中・楠 新屋・小倉・柳新田	城北タウンセンター 報徳小学校家庭科室
7/6	上清水・池田	
7/10	北ノ窪	北ノ窪公民館
7/12	穴部・下清水	穴部公民館
7/13	久所・仲沢	久所高密度
7/17	穴部新田	穴部新田公民館
7/18	府川	府川公民館

ミニ集会 東富水地区青少年育成会

日 時 令和元年7月17日(木)午後7時から  
場 所 小田原アリーナ  
テ マ ストレスと心の健康

～現代社会を生きる子ども達を地域で支えるために～  
率半分の気持ちに気づくこと。  
率失敗しても立ち上がる事が必要  
率その為のサポートのしかたがある。

講 師 植原裕美先生  
スクールカウンセラー・臨床心理士・公認心理士

社明ポスター10年分、法務省HPより引用



第62回

第63回

第64回

第65回

第66回



第67回

第68回

第69回

第70回

第71回

# 研修部会の活動について

研修部会長 岡野 心平

昭和 63 年度から保護司特別自主研修が年 2 回と地域別定例研修が年 4 回、開催される様になりました。平成 2 年度から保護司特別自主研修の名称が「自主研修」に、令和元年度から地域別定例研修が「年 3 回」になりました。

地域別定例研修は、その時々の課題等を取り上げ、主任官から、講義を受け保護司として活動するための必要な知識等の習得に努めています。

地域別定例研修とは別に小田原地区保護司会が主体となり、自主研修を開催し外来講師等を招きその時々の話題や課題等について研修会を実施しています。

その後も、継続して地域別定例研修・自主研修が実施されていましたが、令和 2 年度からコロナウイルス感染症防止のため、地域別定例研修が在宅研修となり、自主研修は中止している状況で再開が期待されています。

毎年恒例となっている 1 泊 2 日の施設視察研修が実施されています。特に、平成 25 年度に実施した「宮城県石巻市視察と現地保護司との交流会」は、被災翌年で、被災直後の保護司活動に耳を傾け、涙を流した交流会でした。今でも昨日の事の様に思い出されます。

一時中断していた保護司信条の唱和活動が令和元年度から再開し、「研修会が引き締まった」との評を得たことです。

なお、現在の研修部会の活動については、①地域別定例研修に関する事項。②自主研修に関する事項。③施設視察研修に関する事項。④新任保護司研修に関する事項。で計画・準備・運営等が主な担当事務となっています。

これからも保護司の皆様方の知識習得等の一助となるように部会員一同で協力しながら、より一層、保護司として活動するために必要な知識の向上を図るために、各種研修会を開催できるよう努めたいと願っています。

## 歴代の部会長・副部会長

年 度	平成 24 年	平成 25 年～ 26 年	平成 27 年～ 28 年	平成 29 年～ 30 年	平成 31(令和元年) ～令和 2 年	令和 3 年
部 会 長	大場 得道	高瀬 敏明	高瀬 敏明	阿久津如生	岡野 心平	岡野 心平
副部会長	高瀬 敏明	青木 捷夫 田村 正美	阿久津如生 富田 幸治	富田 幸治	神谷 賢治	神谷 賢治 竹繩キヨ子

## 施設視察場所一覧

(平成 24 年度以降)

時期	施設視察場所	参加人数
平成 24 年 11 月 17 日～19 日	石川県金沢刑務所	25 人
平成 25 年 10 月 24 日～25 日	宮城県石巻市保護司会	32 人
平成 26 年 11 月 10 日～11 日	三重県宮川医療少年院	28 人
平成 27 年 11 月 5 日～6 日	栃木県喜連川社会復帰促進センター	30 人
平成 28 年 10 月 20 日(日帰り)	茨城県水府学院	36 人
平成 29 年 10 月 25 日～26 日	長野県松本少年刑務所	27 人
平成 30 年 5 月 29 日(日帰り)	神奈川県小田原少年院	27 人
令和元年 10 月 29 日～30 日	茨城県更生保護施設有光苑 茨城県茨城就業支援センター	25 人
令和 2 年度	コロナウイルス感染症防止のため中止	—
令和 3 年度	コロナウイルス感染症防止のため延期	—



電車の教室



松本少年刑務所



明治 6 年開校の  
旧開智学校校舎



↑ 平成 29 年 10 月 6 日  
横浜税関資料展示室見学  
(役員研修)

→ 令和元年 10 月 29 日～30 日

茨城県更生保護施設有光苑

茨城県茨城就業支援センターほか



## 地域別定例研修・自主研修・新任保護司研修一覧

年度	種別	期別	月日	テーマ	参加人数
平成 24 年度	地域別定例研修	第 I 期	6 月 8 日	保護観察対象者の実態把握について	55人
		第 II 期	9 月 5 日	生活環境の整「調整等の難なケース」	51人
		第 III 期	12月16日	薬物事犯について	53人
		第 IV 期	3月14日	自由課題	51人
	自主研修	第 1 回	4月24日	今後の更生保護について	55人
		第 2 回	1月25日	犯罪被害者について	49人
平成 25 年度	地域別定例研修	第 I 期	6 月 14 日	社会貢献活動について	50人
		第 II 期	9 月 13 日	関係機関との連携～社会資源の活用～	51人
		第 III 期	12月18日	面接について～ロールプレイを用いて～	50人
		第 IV 期	3月 7 日	自由課題～事例研修～	50人
	自主研修	第 1 回	4月 25 日	最近の更生保護の動向	54人

年度	種別	期別	月日	テーマ	参加人数
平成 26年度	地域別定例研修	第Ⅰ期	6月13日	精神障害者を抱える対象者の処遇について	49人
		第Ⅱ期	9月12日	少年対象者の処遇について	53人
		第Ⅲ期	12月19日	自由課題：	55人
		第Ⅳ期	3月6日	協力組織について	53人
	自主研修	第1回	4月25日	更生保護の現状と課題	51人
		第2回	1月25日	犯罪被害者について	49人
	新任研修	第1回	11月28日	小田原地区保護司会の変遷・組織・活動	13人
平成 27年度	地域別定例研修	第Ⅰ期	6月12日	就労支援及び協力雇用主について	51人
		第Ⅱ期	9月15日	生活環境の調整	48人
		第Ⅲ期	12月18日	自由課題：覚せい剤犯対象者の処遇について	45人
		第Ⅳ期	2月26日	関係書類の見かた・書きかた	48人
	自主研修	第1回	4月28日	見えない橋を架ける	51人
		第2回	1月21日	更生保護の展望について	50人
平成 28年度	地域別定例研修	第Ⅰ期	6月10日	刑の一部の執行猶予制度について	48人
		第Ⅱ期	9月16日	薬物依存のある対象者の処遇について	45人
		第Ⅲ期	12月16日	自由課題：小田原地区における保護観察の現状について身近な犯罪と予防について	50人
		第Ⅳ期	2月24日	面接技法について	不明
	自主研修	第1回	4月13日	神奈川県における保護司活動の実態と展望	53人
		第2回	1月31日	小田原少年院について	不明
平成 29年度	地域別定例研修	第Ⅰ期	6月9日	良好措置・不良措置について	41人
		第Ⅱ期	9月15日	処遇困難事案への対応について	45人
		第Ⅲ期	12月15日	自由課題：事例検討	44人
		第Ⅳ期	2月23日	刑の一部の執行猶予制度について	36人
	自主研修	第1回	4月7日	認知行動療法の考え方・使い方	47人
		第2回	1月17日	最近の小田原少年院こども達について	42人
	新任研修	第1回	11月19日	小田原地区保護司会について	11人

(平成 24 年度以降)



↑平成30年10月25日  
SST自主研修



↑平成29年9月15日  
第Ⅱ期地域別定例研修



↑令和元年10月29日  
茨城就業支援センター  
有光苑



年度	種別	期別	月日	テーマ	参加人数
平成 30年度	地域別定例研修	第Ⅰ期	6月8日	生活環境の調整について	42人
		第Ⅱ期	9月14日	関係書類の見かた・書きかた	41人
		第Ⅲ期	12月14日	自由課題：認知行動療法 ～自分で自分を助ける方法～	44人
		第Ⅳ期	2月22日	薬物事犯者の処遇について	不明
	自主研修	第1回	4月26日	小田原地方における少年相談の現状と問題点	44人
		第2回	10月25日	SST研修 社会生活技能訓練	30人
		第3回	1月17日	小田原警察署管内の治安状況について	38人
	新任研修	第1回	11月6日	小田原地区保護司会について	9人
平成 31年度 (令和 元年度)	地域別定例研修	第Ⅰ期	6月14日	面接の進め方	43人
		第Ⅱ期	9月13日	薬物事犯者等の処遇について	36人
		第Ⅲ期	2月28日	発達障害について	40人
	自主研修	第1回	4月19日	人権擁護について	37人
		第2回	1月17日	オレオレ詐欺の被疑者たち	44人
令和 2年度	地域別定例研修	第Ⅰ期	6月12日	関係機関との連携	在宅研修
		第Ⅱ期	9月8日	生活環境調整	
		第Ⅲ期	2月26日	関係書類の見かた・書きかた	
	自主研修	第1回		新型コロナウイルス感染症防止のため中止	
	新任研修	第1回	11月17日	小田原地区保護司会について	12人
令和 3年度	自主研修	第1回	4月16日	被害者等への謝罪や弁償について	43人
	新任研修	第2回	10月23日	小田原地区保護司会について	12人



令和2年11月17日 新任保護司研修



令和3年4月16日  
自主研修

令和3年10月23日 新任保護司研修

## 施設視察の一コマ



2011.3.11 の東日本大震  
災震災時には、3階の屋  
上まで津波が襲ってきた  
との事。

平成 24 年(2012年) 金沢刑務所



平成 25 年(2013年) 石巻地区保護司会との交流会



石巻市防災対策庁舎



交流会会場前にて撮影



防災対策庁舎前



平成 26 年(2014 年) 宮川医療刑務所



伊勢市 夫婦岩



伊勢神宮境内



平成 27 年(2015 年) 喜連川社会復帰促進センター



平成 28 年(2016 年) 水府学院



平成29年（2017年）長野県松本少年刑務所



平成30年（2018年）5月29日小田原少年院（平成31年3月廃院）



令和元年 10 月 茨城県更生保護施設「有光苑」視察時のホテル前にて

# 広報部会の活動について

部会長 磯崎 イサ子

## 活動概要

### ◆ 広報誌の創刊に至るまで

1. 「安心安全なまちづくり」のためには、非行や犯罪をした人を更生させ、再犯を防止することの大切さを市民の方々に理解していただくことが大変重要となつてきました。
2. その中で更生保護に携わる保護司の活動や意見を市民の方々を始め多くの関係機関や団体に発信する事は大変意義深く、平成20年、当時の志村会長の元、広報部会が立ち上りました。
3. 保護司会の活動の様子が市民の方々に十分伝えられ、保護司と保護司会の活動に対する地域の理解が深まり、更生保護への協力の輪が広がっていくことを願ってこの広報誌は「かけはし」として発行されました。
4. 紙面の構成と記事の内容

1頁～

- ・写真
- ・小田原地区会長の言葉
- ・横浜保護観察所・統括保護観察官・主任官の挨拶文。

2頁～4頁

- ・社会を明るくする運動や作文コンクール募集作品の紹介。
- ・各部会・組織の活動報告、紹介等
- ・各種表彰を受けられた方の紹介等
- ・編集後記

### 5. 広報部会の役割

- ・広報部会の活動記録の収集・保管
- ・広報誌「かけはし」の発行

## 歴代の部会長・副部会長

年 度	平成 24 年	平成 25 年～ 26 年	平成 27 年～ 28 年	平成 29 年～ 30 年	平成31(令和元年) ～令和 2 年	令和 3 年
部 会 長	杉山 隆一	杉山 隆一	杉山 隆一	磯崎イサ子	磯崎イサ子	磯崎イサ子
部 会 長	瀬戸 昌子	瀬戸 昌子	瀬戸 昌子	松岡 輝宏	廣本まさ子 小澤 峰雄	

## 平成 24 年度から令和 3 年度まで 10 年間の記録

	年 度	会 長	かけはし
1	平成 24 年度	志村会長	かけはし 6 号・ 7 号
2	平成 25 年度	〃	かけはし 8 号・ 9 号
3	平成 26 年度	〃	かけはし 10 号・ 11 号
4	平成 27 年度	渡邊会長	かけはし 12 号・ 13 号
5	平成 28 年度	〃	かけはし 14 号・ 15 号
6	平成 29 年度	〃	かけはし 16 号・ 17 号
7	平成 30 年度	〃	かけはし 18 号・ 19 号
8	平成 31 年度(令和元年度)	大場会長	かけはし 20 号・ 21 号
9	令和 2 年度	〃	かけはし 22 号・ 23 号
10	令和 3 年度	〃	かけはし 24 号

### ※発行日の変更

かけはし 21 号より(3/1 → 4/1 サポートセンター小田原の移転より)

### ※トップ写真の変更

かけはし 24 号以降、下記の左の画像から右の画像へと変更。今まで小さかった発行地区の表示を他誌と合わせ大きく表示するとともに、小田原城の写真を使用することでより小田原地区らしい広報誌になるのではないかという意見があり、検討し変更した。

### ※O Bへの広報誌配布、かけはし 21 号より開始。



# 更生保護サポートセンター小田原について

センター長 遠藤 和夫

更生保護サポートセンターは、地域における更生保護の諸活動の拠点として企画調整保護司が駐在し、保護司の諸活動の支援や関係機関・団体との連携、犯罪予防活動や更生保護関係の情報交換を行うほか、保護司会の事務運営を担っています。

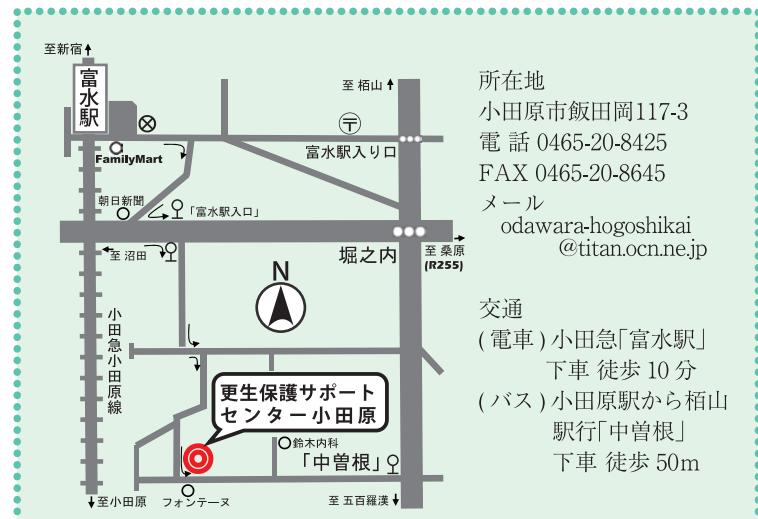
平成23年度、横浜保護観察所より、小田原地区保護司会に対して小田原市内への更生保護サポートセンターの設置要望があり、検討を重ねた結果、市の施設を利用する方法での運用を試みました。

まず、平成25年度（会長：志村宗男、センター長：香川勝久）に青少年相談センター（小田原市城山）の一室（床面積約15m<sup>2</sup>）を事務所として借用し、県下では3番目に開設された更生保護サポートセンターとなりました。

その後、平成29年度（会長：渡邊俊之、センター長：遠藤和夫）に、「更生保護サポートセンター小田原」あり方検討委員会を設置し、本サポートセンターの現状並びに課題等をまとめ、平成30年2月に小田原市に対し、「小田原地区保護司会（傘下の「更生保護サポートセンター小田原」）の改善に伴う要望書」を提出しました。

そして、平成31年4月の小田原地区保護司会理事会において、横浜保護観察所 高橋督寿専門官を迎えて市内施設を視察し、関東地方更生保護委員会 吉田研一郎委員長、横浜保護観察所 三本松篤所長による現場視察などを経て、令和2年4月（会長：大場得道、センター長：遠藤和夫）、現在の更生保護サポートセンター小田原がある市内飯田岡に施設を移転しました。

新たなサポートセンター（延床面積 145.29 m<sup>2</sup>）は、事務室・会議室・面接室、さらに更生保護女性会、BBS会の事務所も兼ねています。更生保護ネットワークの受け皿として、個々の保護司の活動を支援し、保護司会活動の充実を図るための場、そして会員の絆を深める場として活かしていきたいと思います。



## 歴代のセンター長名簿

年 度	平成 24 年	平成 25 年～ 26 年	平成 27 年～ 28 年	平成 29 年～ 30 年	平成31(令和元年) ～令和 2 年	令和 3 年
センターラン	-	香川 勝久	杉山 隆一	遠藤 和夫	遠藤 和夫	遠藤 和夫

年 月 日	内 容
H24,3,15	<p>役員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更生保護サポートセンターの設置構想について 法務省が、平成 20 年度の新規事業として全国に 21 か所を設置し、関係諸団体との協力活動、対象者の立ち直り支援、非行や犯罪の住民からの相談対応等の活動拠点として、また保護司会の会議開催や資料等の保管場所として有効利用されている。</li> </ul> <p>小田原地区保護司会もその必要性が高まる中、横浜保護観察所や小田原市役所との協議を始め、3月 15 日には、役員研修として町田地区保護司会を視察し、サポートセンターに関する情報交換を行った。 (15 名参加)</p>
	 <p>3/15 町田地区保護司会視察</p>
H25,6,5	<p>更生保護サポートセンター設置会議</p> <p>出席者 保護司会 志村会長他 (4 名参加) 小田原市 課長他 (4 名参加)</p>
H25,8,22	<p>サポートセンター設置会議</p> <p>出席者 保護司会 志村会長他 (2 名参加) 小田原市 課長他 (2 名参加)</p>
H25,9,13	<p>理事会</p> <p>小田原保護区における企画調整保護司の選出について</p>
H25,10,1	<p>横浜保護観察所より 小田原保護区における企画調整保護司に指名 (18 名) 志村宗男・香川勝久・乃美香津子・佐藤和子・中嶋政和・大場得道・長谷川好雄・ 新井知功・高瀬敏明・青木捷夫・田村正美・加藤智子・門松文三・町田達哉・ 渡邊俊之・杉山隆一・瀬戸昌子・五十嵐健之</p>
H25,10,03	<p>小田原市より行政財産使用許可書承認 更生保護サポートセンター設置のため 更生保護サポートセンター開設準備委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置場所：小田原市城山 4-2-11 小田原市青少年相談センター内 15 m<sup>2</sup> 名称・規定等について <ul style="list-style-type: none"> <li>・更生保護サポートセンター小田原</li> <li>・サポセン運営規定</li> <li>・運営内規の設定(11 月 25 日施行)</li> <li>・サポートセンターパンフレット作成</li> </ul> </li> </ul>
H25,11,21	<p>理事会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートセンター長 香川勝久氏選出</li> <li>・仮オープン 12 月 9 日決定</li> </ul>

年 月 日	内 容
H26,01,21	更生保護サポートセンター小田原 開所
H26,4～ H27,3	企画調整保護司(常任会議含む)会議 保護観察官駐在による処遇相談 *「厚木サポートセンター」への視察 *「秦野保護司会」からの視察
H27,4,28～ H29,3	横浜保護観察所より 小田原保護区における企画調整保護司に指名 (26名) 渡邊俊之・杉山隆一・大場得道・加藤智子・長谷川好雄・高瀬敏明・青木捷夫・ 門松文三・高橋昇・中嶋政和・奥津康夫・新井知功・天利静子・阿久津如生・ 富田幸治・飯田忠幸・田村正美・瀬戸昌子・佐藤和子・遠藤和夫・島津三喜子・ 剣持卓雄・菊地淳・原恵子・藏品隆昌・高橋義雄
H29,4,27	総会(渡邊会長) サポートセンター長 遠藤和夫氏選出
H29,4,27～ H31,3	横浜保護観察所より 小田原保護区における企画調整保護司に指名 (20名) 渡邊俊之・大場得道・遠藤和夫・新井知功・剣持卓雄・奥津康夫・島津三喜子・ 阿久津如生・富田幸治・小澤峯雄・剣持美和子・高橋昇・山地博・磯崎イサ子・ 松岡輝宏・天利静子・廣本まさ子・宮崎彰典・菊地淳・原恵子
H29,8,8	「更生保護サポートセンター小田原」あり方検討委員会設置 座長：阿久津如生、副座長：松岡輝宏・剣持美和子、他委員9名 (利用中施設のハード・ソフト両面からの現状と課題を中心に提言をまとめること)
H30,1,31	「更生保護サポートセンター小田原」あり方検討委員会答申 座長より、小田原地区保護司会渡邊会長、遠藤センター長に対する答申を受ける
H30,2,13	小田原地区保護司会(傘下「更生保護サポートセンター」)の改善に伴う要望書提出 小田原地区保護司会 渡邊俊之会長から、小田原市長 加藤憲一氏へ要望した
H31,4,2 (R1)	理事会 「更生保護サポートセンター小田原」移転の具体化に伴う“移転プロジェクト”メンバー承認 委員長：渡邊俊之、副委員長：大場得道 他3名
R1,4,16	総会(大場会長) サポートセンター長 遠藤和夫氏選出
R1,4,16	横浜保護観察所より 小田原地区における企画調整保護司に指名 (19名) 大場得道・阿久津如生・遠藤和夫・瀬戸昌子・宮崎彰典・島津三喜子・菊地淳・ 岡野心平・神谷賢治・松岡輝宏・鈴木重司・尾崎節子・椎野正幸・青木孝典・ 磯崎イサ子・廣本まさ子・渡邊俊之・田村正美・山地博
R1,5,6	移転プロジェクト会議(於：円宗寺書院) 「更生保護サポートセンター」移転について (5名)
R1,5,9	移転プロジェクト会議(於：市役所会議室) 「更生保護サポートセンター」移転について 出席者：保護司会より渡邊委員長 他4名 小田原市より菊地課長 他2名

年 月 日	内 容
R1,6,24	「小田原地区保護司会 施設見学会」 場所：特別支援教育相談室「あおぞら」 出席者：横浜保護観察所 高橋督寿専門官 保護司会 7名、小田原市 2名
R1,7,17	理事会 移転プロジェクト 渡邊委員長より報告 横浜保護観察所民間活動支援専門官 高橋督寿氏同席 報告により移転プロジェクトは発展的解消し三役に一任
R2,1,21	正副会長会議 関東地方更生保護委員会委員長 吉田研一郎氏来訪
R2,4,1	「更生保護サポートセンター小田原」移転 場所：小田原市飯田岡 117-3 建物概要：事務室・面接室・会議室 更生保護女性会事務所・BBS会事務所等 床面積 145.29 m <sup>2</sup> (1階 93 m <sup>2</sup> 、2階 53 m <sup>2</sup> )
R2,4,1	サポートセンター移転により小田原市と土地建物賃貸契約締結
R2,4,1	サポートセンター移転によりパンフレット作成 「更生保護サポートセンター小田原」の表札設置 松原宣孝保護司の揮毫
R2,7,2	小田原市守屋市長サポートセンターを視察
R3,4,16	総会(大場会長) サポートセンター長 遠藤和夫氏選出
R3,4,16 (R3,4～R5,3)	横浜保護観察所より 小田原地区における企画調整保護司に指名 (19名) 大場得道・阿久津如生・遠藤和夫・宮崎彰典・菊地淳・島津三喜子・岡野心平・ 神谷賢治・竹繩キヨ子・松岡輝宏・鈴木重司・尾崎節子・椎野正幸・磯崎イサ子・ 小澤峯雄・廣本まさ子・渡邊俊之・田村正美・山地博
R3,7,16	横浜保護観察所民間活動支援室より来訪 石川周治民間活動支援専門官 山本拓哉氏(会計係) 後列：菊地会計書記、遠藤副会長、石川民間活動支援専門官 前列：阿久津副会長、宮崎副部会長、島津会計書記
R3,7,30	オンライン (Zoom) での事務担当者会議を実施



↑保護観察官へ展示物の説明



↑面接風景



↑サポートセンター小田原へ  
来訪のBBS会のメンバー



	氏名	委嘱日	小田原市 青少年 育成推進者 表	小田原市 青少年 育成成功労者 表	神奈川県 保護司会 連合会長 表	横浜保護 観察所長 彰	神奈川県 社会福祉 協議会長 表	神奈川県 社会福祉 協議会長 表	関東地方 保護司 連盟会長 表	関東地方 更生保護 委員会長 表
1	渡邊 俊之	昭和58年8月4日	受賞済	受賞済	受賞済	受賞済	受賞済	受賞済	受賞済	受賞済
2	大場 得道	平成5年8月4日	受賞済	受賞済	受賞済	受賞済	受賞済	平成25年	受賞済	受賞済
3	杉山 隆一	平成5年8月4日	受賞済	受賞済	受賞済	受賞済	受賞済	平成25年	受賞済	受賞済
4	天利 静子	平成8年5月25日	受賞済	受賞済	受賞済	受賞済	受賞済	受賞済	受賞済	受賞済
5	瀬戸 昌子	平成8年5月25日	受賞済	受賞済	受賞済	受賞済	受賞済	受賞済	受賞済	受賞済
6	高瀬 敏明	平成9年2月11日	受賞済	受賞済	受賞済	受賞済	受賞済		受賞済	受賞済
7	長谷川好雄	平成9年8月4日	受賞済	受賞済	受賞済	受賞済	受賞済		受賞済	受賞済
8	小澤 峰雄	平成14年10月1日	受賞済	平成24年	受賞済	受賞済	平成25年		受賞済	受賞済
9	劍持美和子	平成14年10月1日	受賞済	受賞済	受賞済	受賞済	平成26年		受賞済	受賞済
10	阿久津如生	平成15年12月5日	受賞済	平成26年	受賞済	受賞済	平成26年		受賞済	平成25年
11	田村 正美	平成15年12月5日	受賞済	平成26年	受賞済	受賞済	平成26年		受賞済	平成25年
12	庵原 和子	平成17年12月5日	平成24年	平成27年	受賞済	受賞済	平成25年		平成24年	平成26年
13	遠藤 和夫	平成17年12月5日	平成5年	平成28年	受賞済	受賞済	令和元年		平成24年	平成26年
14	島津三喜子	平成17年12月5日	平成24年	平成28年	受賞済	受賞済			平成24年	平成26年
15	廣本まさ子	平成17年12月5日	平成7年	平成28年	受賞済	受賞済			平成24年	平成26年
16	穂坂 昇	平成17年12月5日	平成23年	平成28年	受賞済	受賞済			平成24年	平成26年
17	松原 宣孝	平成17年12月5日	平成24年	平成28年	受賞済	受賞済			平成24年	平成26年
18	宮崎 彰典	平成17年12月5日	平成24年	平成27年	受賞済	受賞済			平成24年	平成26年
19	山地 博	平成17年12月5日	平成23年	平成27年	受賞済	受賞済			平成24年	平成26年
20	大木 隆雄	平成18年5月25日		平成29年	受賞済	受賞済			平成25年	平成27年
21	小野 衛二	平成18年5月25日	平成26年	平成29年	受賞済	受賞済			平成25年	平成27年
22	鈴木 重司	平成18年5月25日	平成26年	平成29年	受賞済	受賞済			平成25年	平成27年
23	岡野 心平	平成19年12月5日	平成27年	平成29年	平成24年	平成25年			平成27年	平成29年
24	松岡 輝宏	平成19年12月5日	平成27年	平成29年	平成24年	平成25年			平成27年	平成29年
25	磯崎イサ子	平成20年5月25日	平成27年	平成29年	平成24年	平成25年			平成27年	平成29年
26	竹縄キヨ子	平成21年8月4日	平成27年	平成30年	平成25年	平成26年			平成28年	平成30年
27	青木 孝典	平成22年4月1日	平成11年	令和元年	平成26年	平成27年			平成28年	平成30年
28	尾崎 節子	平成22年10月1日	平成28年	令和元年	平成26年	平成27年			平成28年	令和元年
29	菊地 淳	平成24年4月1日			平成28年	平成29年			平成30年	令和2年
30	椎野 正幸	平成24年10月1日	平成29年	令和3年	平成28年	平成29年			平成30年	令和2年
31	神谷 賢治	平成26年4月1日	平成30年		平成30年	令和元年			令和2年	
32	小林 幸一	平成26年10月1日			平成30年	令和元年			令和2年	
33	藏品 隆昌	平成26年10月1日	令和元年		平成30年	令和元年			令和2年	
34	高橋 義雄	平成26年10月1日	令和元年		平成30年	令和元年			令和2年	
35	福田美千代	平成27年4月1日			令和元年	令和2年			令和3年	
36	北河 文子	平成27年10月1日			令和元年	令和2年			令和3年	
37	富松 国雄	平成28年10月1日			令和2年	令和3年				

平成24年～令和3年の受賞者一覧 小田原地区保護司会 表彰履歴

令和3年11月時点

## 小田原地区保護司会 表彰履歴

令和3年11月時点

	氏名	委嘱日	小田原市 青少年 育成推進者 表	小田原市 青少年 育成功労者 表	神奈川県 保護司会 連合会長 表	横浜保護 観察所長 表	神奈川県 社会福祉 協議会長 表(10年)	神奈川県 社会福祉 協議会長 表(20年)	関東地方 保護司連 盟会長表	関東地方 更生保護 委員会長表
38	石井 典克	平成29年4月1日			令和3年					
39	本多 秋晴	平成29年10月1日			令和3年					
40	佐々木奈保美	平成30年4月1日								
41	鈴木 香	平成30年10月1日								
42	関 伸平	平成30年10月1日								
43	本多 和彦	平成30年10月1日								
44	山本 和子	平成31年4月1日								
45	内田 建二	令和2年4月1日								
46	松井 達英	令和2年4月1日								
47	山崎由起子	令和2年4月1日								
48	小島 君予	令和2年10月1日								
49	村越 恵子	令和2年10月1日								
50	石井 智子	令和3年4月転入 (平成14/11/25)								
51	石川 明	令和3年4月1日								
52	石黒 智彦	令和3年4月1日								
53	井上 淳一	令和3年4月1日								
54	菊地 映江	令和3年10月1日								
55	堀田 浩美	令和3年10月1日								
56	岸 幸雄	令和3年10月1日								



平成26年(2014年) 三重県の施設視察を終えての伊勢神宮



## 小田原地区保護司会 表彰履歴

令和3年11月時点



平成27年(2015年)  
栃木県の施設視察を終えての日光東照宮

## 退任保護司及び各種表彰記録

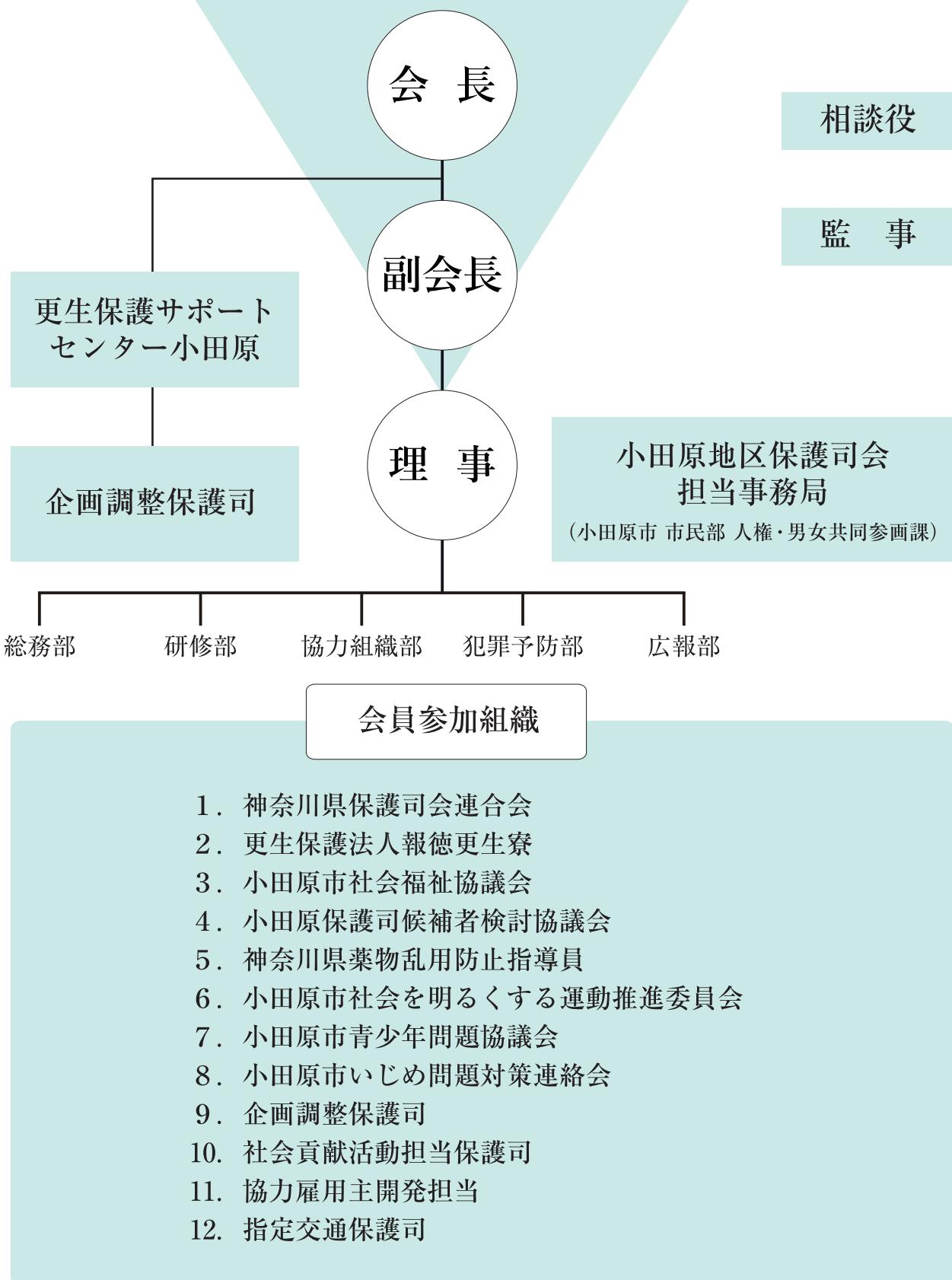
	氏名	委嘱日	退任日	小田原市青少年育成推進者表	小田原市青少年育成功労者表	小田原市民功労賞	神奈川県保護司会連合会長表	横浜保護観察所長表	神奈川県社会福祉協議会長表	神奈川県社会福祉協議会長表	関東地方保護司連盟会長表
1	志村 宗男	昭和56年8月4日	平成31年3月31日			平成22年	昭和60年	昭和61年	平成3年	平成13年	平成6年
2	加藤 智子	平成7年2月11日	令和2年9月30日		平成19年		平成11年	平成12年	平成17年		平成15年
3	細川 真良	平成7年2月11日	平成26年9月30日	昭和56年	平成4年		平成11年	平成12年	平成17年		平成15年
4	香川 勝久	平成9年2月11日	平成28年9月30日	平成16年	平成20年		平成13年	平成14年	平成19年		平成16年
5	佐藤 和子	平成9年8月4日	平成29年3月31日	平成17年	平成21年		平成13年	平成14年	平成19年		平成17年
6	乃美香津子	平成9年8月4日	平成27年3月31日	平成17年	平成20年		平成13年	平成14年	平成14年	平成22年	平成17年
7	瀬戸 幾一	平成9年12月5日	平成25年12月4日	平成18年	平成22年		平成14年	平成15年	平成20年		平成17年
8	青木 捷夫	平成10年4月1日	令和1年7月31日	平成19年	平成22年		平成14年	平成15年	平成20年		平成17年
9	富田 幸治	平成11年2月11日	令和2年9月30日	平成19年	平成22年		平成15年	平成16年	平成21年		平成18年
10	中嶋 政和	平成11年5月25日	平成31年3月31日	平成19年	平成22年		平成15年	平成16年	平成21年		平成18年
11	守屋 光人	平成11年5月25日	平成25年3月31日	平成19年	平成22年		平成15年	平成16年	平成21年		平成18年
12	新井 知功	平成12年5月25日	令和2年3月31日		平成23年		平成16年	平成17年	平成22年		平成19年
13	高橋 昕	平成12年5月25日	令和2年3月31日	平成20年	平成23年		平成16年	平成17年	平成22年		平成19年
14	町田 達哉	平成12年5月25日	平成28年3月31日	平成6年	平成23年		平成16年	平成17年	平成22年		平成19年
15	五十嵐健之	平成13年5月25日	平成27年3月31日	平成21年	平成24年		平成17年	平成18年	平成23年		平成19年
16	門松 文三	平成13年8月4日	平成31年3月31日	平成21年	平成24年		平成17年	平成18年	平成23年		平成20年
17	奥津 康夫	平成16年10月1日	平成30年9月30日	平成22年	平成26年		平成20年	平成21年			平成23年
18	石綿 義弘	平成17年12月5日	平成29年9月30日		平成28年		平成22年	平成23年			平成24年
19	高橋 義成	平成17年12月5日	平成29年3月31日	平成23年	平成28年		平成22年	平成23年			平成24年
20	村山 孝司	平成17年12月5日	平成29年9月30日	平成24年	平成27年		平成22年	平成23年			平成24年
21	飯田 忠幸	平成17年12月5日	令和3年9月30日								
22	泰田 紀子	平成17年12月5日	平成29年9月30日	平成23年	平成26年		平成22年	平成23年			平成24年
23	江島 紘	平成17年10月1日	令和2年3月31日	平成26年	平成29年		平成22年	平成23年			平成25年
24	鈴持 卓雄	平成21年8月4日	平成31年3月31日	平成27年	平成30年		平成25年	平成26年			平成28年
25	原 恵子	平成24年4月1日	平成30年3月31日	平成29年							
26	上原 健一	平成30年10月1日	令和2年9月30日								

## 平成24年以降の退任者の受賞者一覧

関東地方 更生保護 委員会長 表彰表	神奈川県 感謝状	全国保護司 連盟理事長 表彰表	法務大臣 表彰表	藍綬褒章	瑞宝双光章	神奈川県 青少年 育成活動 推進者 表彰表	神奈川県 県民功労賞	社会福祉 功労賞	小田原市 市政70周年 社会福祉 功労賞	小田原市 市政80周年 社会福祉 功労賞
平成8年	平成16年	平成15年	平成17年		平成25年		平成21年	平成24年		
平成18年		平成18年	平成26年	令和元年		平成26年				令和2年
平成18年		平成25年								
平成19年			平成26年							
平成19年		平成27年	平成28年							
平成19年			平成26年							
平成19年										
平成19年	平成27年	平成28年								
平成20年	平成28年	平成29年	平成30年	令和2年						令和2年
平成20年	平成28年	平成29年	平成30年							
平成20年										
平成21年		平成30年	令和元年							
平成21年		平成30年	令和元年							
平成21年										
平成22年										
平成22年	昭和60年									
平成25年										
平成26年										
平成26年										
平成26年										
平成27年										
平成30年										

2年末満は掲上せず

# 小田原地区保護司会 組織・機構図



## 組織団名簿：令和3年10月1日現在

会長：大場得道 副会長：遠藤和夫、阿久津如生

サポートセンター長：遠藤和夫 相談役：渡邊俊之 監事：田村正美、山地博

総務部会／部会長：遠藤和夫、副部会長：宮崎彰典、会計・書記：菊地淳、島津三喜子

部員：瀬戸昌子、天利静子、劔持美和子、高橋義雄、小林幸一、本多秋晴

研修部会／部会長：岡野心平、副部会長：神谷賢治、竹繩キヨ子

部員：高瀬敏明、田村正美、大木隆雄、小野衛二、北河文子、山本和子、内田建二、  
村越恵子、石黒智彦、堀田浩美

協力組織部会／部会長：松岡輝宏、副部会長：鈴木重司、尾崎節子

部員：長谷川好雄、穂坂昇、石井典克、佐々木奈保美、小島君予、井上淳一、菊地映江

犯罪予防部会／部会長：阿久津如生、副部会長：椎野正幸

部員：山地博、青木孝典、藏品隆昌、福田美千代、鈴木香、松井達英、石川明

広報部会／部会長：磯崎イサ子、副部会長：廣本まさ子、小澤峯雄

部員：杉山隆一、松原宣孝、菴原和子、富松国雄、関新平、本多和彦、山崎由紀子、  
石井智子、岸幸雄

会員参加組織：(各種関連機関派遣者：令和3年度)

1. 神奈川県保護司会連合会：(会長：柳川義信) 会員 / 大場得道

2. 更生保護法人報徳更生寮：(理事長：志村宗男・常務 / 田村正美・施設長 / 関伸平)  
評議員：大場得道、遠藤和夫

3. 小田原市社会福祉協議会：(会長：小野康夫) 理事 / 遠藤和夫

4. 小田原保護司候補者検討協議会：大場得道、遠藤和夫、阿久津如生

5. 神奈川県薬物乱用防止指導員：遠藤和夫、阿久津如生、松岡輝宏、藏品隆晶、  
椎野正幸、鈴木香

6. 小田原市社会を明るくする運動（委員長：守屋輝彦小田原市長）副委員長：大場得道、  
推進委員会：遠藤和夫、阿久津如生、岡野心平、松岡輝宏、  
椎野正幸、磯崎イサ子

7. 小田原市青少年問題協議会：(会長：守屋輝彦小田原市長) 委員 / 大場得道

8. 小田原市いじめ問題対策連絡会：(会長：柳下正祐教育長) 委員 / 阿久津如生

9. 企画調整保護司(横浜保護観察所)：大場得道、遠藤和夫、阿久津如生、  
宮崎彰典、菊地淳、島津三喜子、岡野心平、神谷賢治、  
竹繩キヨ子、松岡輝宏、鈴木重司、尾崎節子、椎野正幸、  
磯崎イサ子、小澤峯雄、廣本まさ子、渡邊俊之、  
田村正美、山地博

10. 社会貢献活動担当保護司(横浜保護観察所)：鈴木重司、竹繩キヨ子

11. 協力雇用担当(横浜保護観察所)：松岡輝宏

12. 指定交通保護司(横浜保護観察所)：岡野心平

# 小田原地区保護司会会則

改正 平成25年4月25日

## 第1章 総 則

### (名称)

第1条 本会は、小田原地区保護司会と称する。

### (事務所)

第2条 本会は、事務所を神奈川県小田原市荻窪300番地 小田原市市民部人権・男女共同参画課に置く。

### (目的)

第3条 本会は、保護司法（以下「法」という。）第13条に規定する保護司会として、その任務を円滑に遂行するとともに、法第1条に規定する保護司の使命達成に資する活動を行うことを目的とする。

### (活動)

第4条 本会は、次の事務を任務として行うほか、前条の目的を達成するために必要な活動を行う。

- (1) 法第8条の2に規定する計画の策定その他保護司の職務に関する連絡及び調整
- (2) 保護司の職務に関し必要な資料及び情報の収集
- (3) 保護司の職務に関する研究及び意見の発表
- (4) 保護司の職務に関する研修
- (5) 保護司及び保護司会の活動に関する広報宣伝
- (6) 保護司の人材確保の促進に関する活動
- (7) 保護司の職務遂行に関し災害が発生した場合の救済に関すること  
（国家公務員災害補償法（昭和26年法律第191号）に基づくものを除く）

### (会員)

第5条 本会は、小田原保護区に配属されている保護司を会員とする。

### (部会)

第6条 本会に、第4条の活動を遂行するため、次の部会を設け、それぞれ部会長・副部会長を置く。

- (1) 総務部会
- (2) 研修部会
- (3) 協力組織部会
- (4) 犯罪予防部会
- (5) 広報部会

2 部会長・副部会長は、総会において理事の中から選任する。

## 第2章 役 員

### (役員)

第7条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 3人以内
- (3) 理事 14人以上18人以内(うち会計担当、書記担当を含む)
- (4) 監事 2人

### (役員の選任)

第8条 理事及び監事は、会員の中から総会において選任する。

- 2 会長及び副会長は、理事の中から総会において選任する。
- 3 理事及び監事は、相互にこれを兼ねることができない。

### (役員の職務)

第9条 会長は、本会を代表し、その会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長があらかじめ定めた順序により、会長に事故があるときは、その職務を代理し会長が欠員のときは、その職務を行う。
- 3 理事は、理事会を組織し、会則の定め及び総会の議決に基づき、会務を執行する。
- 4 監事は、会計及び理事の会務の執行状況を監査する。

### (役員の任期)

第10条 役員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

- 2 補欠又は増員により選任された役員の任期は、前任者又は現在者の残任期間とする。
- 3 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が選任されるまではその職務を行う。ただし、保護司を退任し、会員資格を失った場合は、この限りはない。

### (相談役)

第11条 本会に相談役を置くことができる。

- 2 相談役は、会員の中から総会の議決により、会長が委嘱する。
- 3 相談役は、会長の諮問に応じて意見を述べることができる。

## 第3章 会議

### (会議の種類)

第12条 会議は、総会及び理事会とする。

### (総会)

第13条 総会は、会員をもって構成する。

- 2 総会は、毎年1回以上開催するものとし、会長が招集する。
- 3 会員の3分の1以上又は監事から会議の目的を示して召集の請求があった場合には、会長は速やかに総会を招集しなければならない。

4 総会は、この会則で別に定めるもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会の議決に基づく会務の執行に関する事項
- (3) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項
- (4) 法第8条の2の計画に関する事項

(理事会)

第14条 理事会は、理事をもて構成する。

2 理事会は、必要に応じて、会長が招集する。

3 理事現在数の3分の1以上又は監事から会議の目的を示して招集の請求があった場合には、会長は、速やかに理事会を招集しなければならない。

4 理事会は、この会則で別に定めるもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会の議決に基づく会務の執行に関する事項
- (3) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項
- (4) 法第8条の2の計画に関する事項

(議長)

第15条 総会の議長は、その総会において出席会員の中から選任する。

2 理事会の議長は、会長が行う。

(会議の定足数)

第16条 会議は構成員の現在数の過半数の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第17条 会議の議事は、出席者の過半数をもって決する。ただし、可否同数のときは、議長が決する。

2 やむを得ない理由により会議に出席できない構成員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の構成員を代理人として表決を委任することができる。

3 前項の場合における前2条の規定の適用については、その構成員は会議に出席したものとみなす。

#### 第4章 会計等

(経費)

第18条 本会の経費は、会費、助成金、寄附金その他の収入をもって充てる。

2 本会の資産は、会長が管理する。

(会計年度)

第19条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び予算)

第 20 条 本会の事業計画及び予算は、総会の議決により定めなければならない。

(事業報告及び決算)

第 21 条 本会の事業報告及び決算は、毎会計年度終了後 60 日以内に、監事の監査を受けて総会の議決を得なければならない。

## 第 5 章 雜則

(事務局)

第 22 条 本会に事務局を置く。

2 事務局に事務担当者を置く。

(会則の変更)

第 23 条 この会則は、総会の議決を経た場合には、変更することができる。

(施行細則)

第 24 条 この会則の施行について必要な細則は、理事会の承認を得て会長が定める。

附則

この会則は、平成 11 年 4 月 1 日から施行する。

附則

この会則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附則

この会則は、平成 17 年 12 月 1 日から施行する。

附則

この会則は、平成 23 年 4 月 21 日から施行し、同年 4 月 1 日から適用する。

附則

この会則は、平成 24 年 4 月 24 日から施行し、同年 4 月 1 日から適用する。

附則

この会則は、平成 25 年 4 月 25 日から施行し、同年 4 月 1 日から適用する

# 「更生保護サポートセンター小田原」運営規程

## 第1章 総 則

(目的)

第1条 この規程は、更生保護サポートセンター小田原（以下「サポートセンター」という）の運営を円滑に行うための必要な事項を定めることを目的とする。

## 第2章 運 営

(運営の基本)

第2条 サポートセンターの運営は、この規程のほか、横浜保護観察所の更生保護サポートセンタ設置要領（以下「設置要領」という。）の定めるところによる。

(サポートセンター長)

第3条 サポートセンターにサポートセンター長（以下「センター長」という。）を置く。

2 センター長は、企画調整保護司を統括し、サポートセンターを管理運営する。

3 センター長は、小田原地区保護司会理事会（以下「理事会」という。）の承認を得て会長が任命をする。

4 センター長の任期は、2年（小田原地区保護司会役員の始期及び終期と同じとする。）とし、再任を妨げない。

## 第3章 企画調整保護司

(企画調整保護司)

第4条 サポートセンターに企画調整保護司を配置させる。

2 企画調整保護司の業務は設置要領の2の(1)から(7)による。

3 企画調整保護司の指名及び指名の解除は、理事会の承認を得て横浜保護観察所長に上申する。

4 企画調整保護司の任期は第3条第4項を準用する。

(企画調整保護司会議)

第5条 サポートセンターの運営を円滑に行うため、必要に応じて企画調整保護司会議を開催する。

2 企画調整保護司会議は、センター長が招集し、主宰する。

## 第4章 雜 則

第6条 この規程は、理事会の承認を得て改正することができる。

第7条 この規程に必要な内規は、理事会の承認を得て作成し変更する。

## 附 則

この規程は、平成25年11月25日から施行する。

改正 平成28年5月12日

## 実行委員会の紹介



後列：小澤峯雄(実行副委員長)、松岡輝宏(実行副委員長)、宮崎彰典(委員)、関伸平(委員)  
前列：島津三喜子(委員)、磯崎イサ子(実行委員長)、廣本まさ子(実行副委員長)

### 編集後記

編集方針は 60 周年後の記録作成です。先人達の足跡をたどり、現、会員の絆の深さを紹介し、70 周年の記録とする事を心がけました。

凄まじい豪雨や自然災害、終息が見えないコロナ感染症、それに伴う利便性のあるデジタル化、ビックリすることばかりでした。

対象者との面接も、ままならない中で、スマホ依存の対象者に接した時は「人と人のコミュニケーション」の大切さを痛感しました。

今回、めまぐるしい社会の変化と生活環境に合わせた部会活動を、写真を多く取り入れ紹介しました。

どの様な対応がなされ、迅速な情報発信がなされたのかを感じていただければ幸いです。

最後になりましたが、お忙しい中寄稿してくださった方々、写真や資料の提供等、あらゆるところで発刊にご協力いただいた方々に心より感謝を表します。



小田原地区保護司会  
70周年記念誌

10年の絆

---

● 発行日 令和3年12月15日  
● 編集 小田原地区保護司会  
70周年記念誌発行検討委員会・実行委員

● 発行 小田原地区保護司会 70周年記念誌実行委員会  
〒250-0854 神奈川県小田原市飯田岡117-3

更生保護サポートセンター小田原  
電話 (0465)20-8425

〒250-8555 神奈川県小田原市荻窪300番地  
(小田原市 市民部 人権・男女共同参画課内)  
電話 (0465) 33-1725

---

● 印刷所 有限会社 エーアンドエヌ  
〒250-00011 神奈川県小田原市栄町 3-22-11

主

小田原地区保護司会  
70周年記念誌

10年の絆